大正七年七月廿四日　(年中無休刊)　第二千八百九十三號　(一)

京城日報

本紙定價　壹部參錢▲壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月前金貳圓拾五錢▲六ヶ月同四圓貳拾錢▲壹ヶ年同八圓
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五十錢
發行兼編輯人　奥正直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
振替京城三〇〇番

七月二十三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇聯軍大攻擊續行

聯合軍は今やランス地方に於て大攻擊續行中なり(倫敦電報)

◇未曾有の大攻擊

獨逸參謀次長ルーデンドルフ將軍は今次の大攻擊に際し三週間以上休養中なりし精銳なる部隊を參加せしめたり今次の攻擊は開戰以來最も大なる攻擊にして其迅速に處置されたる點も開戰以來の事に屬す(倫敦電報)

◇佛軍ソアソン肉薄

佛軍はソアソンに肉薄せるが此の戰鬪にて最長距離八哩に達せり(倫敦電報)

◇軍事的援助交涉

華盛頓來電＝露國に對する軍事的援助の性質に關し米、英、佛及び日本の諸國に交涉繼續中なり(倫敦電報)

◇滿洲里危殆に瀕す

一萬二千より成る獨墺俘虜軍は滿洲里に襲擊し來り同地は危殆に瀕せり(哈爾賓電報)

◇帝國警備艦派遣

湖南常德に於ける邦人の被害頻々たるより我政府は警備艦を派遣す可し(上海特電)

◇奉天軍界の緊張

西伯利亞の風雲急を告ぐると共に奉天軍界は頓に緊張し來り目下張督軍は北京より來奉せる徐樹錚氏と何事か協議し且つ二十八師長汲金純氏、楊參謀長、東邊鎭守使馬龍潭氏、第五十四旅長張作相氏等も相踵いで參集し重要軍事會議を開催し居れり(奉天特電)

◇米國極東課設置

米國內外通商局內に極東課設置されビショップ氏課長となり京城總領事ミラー氏は國務省極東事務課長に任ぜられたり(華盛頓電報)

◇三元老當分滯京

山縣、西園寺、松方の三元老は米國よりの回答到着する迄滯京の筈なり(東京特電)

◇滿蒙地方 緬羊馬匹 ＝改良計畫＝

政府は滿蒙地方に於ける二百萬頭の緬羊を改良する爲め三十五箇年繼續事業として來年度四十萬圓を計上し又同地馬匹百五十萬頭改良の爲め十箇年繼續事業として來年度二十萬圓を計上し滿鐵をして經營せしむ可く右は廿九日の拓殖局參委員會に諮問さる可しと(東京特電)

◇鮮米移入方法

外米管理部にては鮮米三十萬叺を十五萬叺宛東京、大阪兩地に八月末迄に移入せしむる筈にて其內一萬石を二十二日より三日間五十車宛の貨車を運轉し輸送せしむる事に鐵道院との交涉纏れり(東京特電)

◇木材防腐工場 落成式擧行

昨年以來蘇家屯驛附近に建設中なりし木材防腐工場は二十二日朝落成式を擧行せるが、滿鐵本社より [illegible] は堀三之助氏等臨席せり、本工場設立の上は滿鐵用枕木の保存上極めて有効なる可く普通の枕木は約六年を保つものなれども防腐劑を注入すれば三四十年乃至三五十年を保つ可しと因に工場の建設費は十六萬圓なり(奉天特電)

◇新邱炭坑探險團

新邱炭坑探險隊は過般一箇月の豫定にて出發せしが未だ調査終了せざる爲め尙ほ十日間を延期す可しと(奉天特電)

▽佐藤課長大連行

滿鐵京城管理局車輛課長佐藤三郎氏は二十二日朝奉天通過大連へ急行せり(奉天特電)

◇一高見學團動靜

一高滿洲見學團三十三名は中山教授に引率され二十二日夜撫順より來奉二十三日奉天視察の上二十四日大連に向ひ夫より旅順靑島天津に赴く筈なり(奉天特電)

◎獨軍新攻勢 第五次攻擊開始

某筋着情報に依れば獨軍は十五日よりメイゾン、ドウ、シャパーニュ附近よりシャトウ、チェリー間(約百二十哩)の正面に對し第五次攻勢を開始せり當日敵は午前零時より準備砲擊を開始し同四時より步兵攻擊を行ひ同六時頃迄に小部隊は二地點(地點不明)よりマルヌ河を渡り其他は第一線陣地に於て戰鬪中なるが其後の情報に依れば

▽敵の新攻擊は午前十時迄マルヌ左岸に於てクレサンジー、マルイユ、ボール間に發展し此間其敵はマルス、ランス間に於てパスリユー、アールシー、ヴイルトンマンジュの線に進出せるのみならずランス東方正面に於ても第一線陣地帶內に於て交戰しつゝあり右は十五日發情報にして其後の戰況は電報遲延の爲之を詳かにせざるも獨軍今次の攻勢は佛軍總司令部の夙に豫期せる處なるを以て佛軍は

▽多大の自信を以て對抗しつゝあるに反し獨軍は攻勢第二日に於てシャーロン、スール、マルヌを占領すべく準備砲擊僅に四時間にして步兵攻擊を開始し所謂肉彈突擊たる勁烈なる攻擊を行ひたるが如きも其進出以上の如く當初の目的地に接近する能はざりしは佛軍が豫め之に備へたる結果に外ならずと雖も一面又之に依つて敵の攻勢力を窺知するに難からず然れ共獨軍今次の攻勢たるや夙に各種の準備を整へ

▽巴里に向ひ 進捗せんとするにあれば第一日の攻勢成績を以て直に今後の戰況を判斷するは早計なり蓋し獨軍の攻勢如何に拘らず佛軍が北戰線を中斷せらるゝが如きは恐らくこれ無かるべしと雖も然も獨軍從來の戰果に徵すれば佛軍は或は多少の後退を餘儀なくせらるゝことあるやも計られず果して然らば現在獨軍戰線より巴里市街迄は尙二十哩內外の距離あるも若し今後十哩內外の進出を見るに至らば獨軍は直ちに巴里を目標として猛烈なる遠距離砲擊を行ひ以て佛軍に多大の打擊を與ふる擧に出づるならんか要之獨軍相手の講和に關する種々の演說を試みつゝある際獨軍の積極的攻勢作戰の經過は頗る注目に値すべしと云へり(東京)

◎出兵と支那 靳徐兩氏確執

各國派兵の議定まるや英佛伊の各國兵は香港北京天津等より出動することゝなり居れるが支那政府のみは依然として對南戰に離れ難く邊境出兵に對しては頗る冷淡の觀あり唯國務會議及參戰督辦署にては最近邊境出兵の討議を爲さゞるにあらざるも殆んど形式的に過ぎずして結局は若干の派兵を見ることあらんも目下の處何等の準備なきが如く、支那政府がかくの如く外患に對して冷淡なるは一に徐樹錚氏の方寸にあるが如し徐氏は當初より對外出兵問題に對して極めて消極的の意見を有し先づ內亂を平げて外患に對すべしとの主張の下に西伯利問題に對しては殆んど風馬牛の態度を執り居れるが之れに對し參戰督辦署の靳雲鵬氏は少くとも列國と同一の步調を辿らんとの希望を有し出兵に對しては最も熱心なる一人なるも如何せん目下國內の形勢は徐樹錚氏の主張に贊成するもの多く對外問題には殆んど相關せざる傾きあるに際して靳雲鵬氏の主張は此の大勢を動かすに力なく最近徐靳兩氏の意見衝突は遂に靳氏の請暇隱退を見るに至らんとす(北京)

◎土地調査局廢廳無根

土地調査局は來る八月末限り廢廳され殘部は若干の局員にて處理すべしとの說一部に傳へられつゝあるが確聞する所によれば土地調査局の事業は大正七年度乃ち大正八年三月末を以て終末する事になり目下技術課整理課等の事務を主として進めつゝあるに付此際到底廢廳さるべくも非ず全く無根の風說なり尙大正八年三月に至るも高等土地調査委員會並に殘務ある爲め土地調査局を全く廢廳さするや前記事務を總督府の一部として存置するやは決定し居らざる模樣なり

◎英國行小包 制限幾分緩和

英國にては小包郵便に依り英國に輸入することを得る物品に關し改正を加へたる結果從來同國政府の許可を得るに非ざれば同國に輸入することを得ざりし物品と雖も商品見本又は贈答品なることは自今右輸入許可を得るの要なきことゝなりたるに付朝鮮郵便局所にては此等の物品を包有する同國宛小包を引受る際果して商品見本又は贈答品なるや否や篤と取調たる上不都合なしと認むるものに限り引受る樣申通し遞信課長より通牒したり尙英國政府の輸入許可を要する物品に付ては豫め其許可を得たるものなることの確實なるものに限り之が引受けを爲し單に其の許可を得る見込あるもの等に付ては豫め其の許可を要する旨を懇示し引受けを拒絕すべし

◎買付米積出に就て 徒に聲を大にする勿れ＝某消息通談

米買付問題最近に至り火の手は意外に大となれるも惜しむらくは大底既に火焰滿々如何とも施すに術なきなり現在の米價は小西が退却するも農商務省が買付中止を發表するも將た又仁川埠頭に

▲其船返せと絕叫す るも一度昂騰せる米價は左樣に容易に引下るものには非ず頽瀾は旣倒に返す可からざるなり鈴木の買付始まらざるに先立ち或は買占の當初に於て宣戰聲を大にして今日の結果を來す事を未然に防ぐ可かりしなり時期の遲れたるを如何せん聞くが如くんば農商務省は鮮米移入の計畫を詳細朝鮮當局と諮る事無くして

▲只秘密裡に事を行はんとせるものなりと果して然らば之は思はざるの甚だしきなり寧ろ朝鮮當局の意見を徵し外米輸入を圖るよりも滿洲粟に二圓位の補給を爲さば期せずして多量の移入ある可く然る後鮮米の內地移出を企つるを賢明なる策となすべかりしなり仁川商人の周章て方も常軌を逸したる感あり仁川は取引所所在地なれば

▲一面より觀察すれば暗中如何なる事情伏在せずやの懸念に驅られて疑心却て暗鬼を生ずるを保し難きも小西と位置を替へて自己が移出する場合には何等の怨言も無く他人の之を爲すを見て大袈裟に立騷ぐはあまりに現金過ぎずや二隻の商船の入港を不思議がるにも當らず事情を聞けば海上風波の關係上此二三隻は前後して出帆せるも同時に仁川に入港せるものなりとの事なり

▲又十二萬石の米が各樣に一時に持ち去らるゝものに非ず仁川の倉庫が空になる譯なく尙ほ七萬石は殘存せりとの當局に對して輸送中止を懇願せりとの事なるも甚だしき矛盾なり今更聲を大にして騷ぎ立つるは却て人氣を引き締め結果は面白からざる可し

◈脫線せる鮮米禁移論 朝鮮の爲めに執らず＝某銀行家談

仁川の米穀商であり又公人である人の中に今回農商務省の指令により小西一派の買附けた鮮米積出し乃ち

▽內地移出 を止めて終ひたいと云ふ要望のある事を予等は旣三日前に知つて驚いてゐたが二十三日貴紙朝刊大村書記長の談により前日京仁兩會議所書記長の總督府訪問は小西一派の買付た米を絕對に內地へ積出さぬやう緩和策を執られたいとの陳情であつたと知り移出米禁止の運動が公然となつたを知り朝鮮のために好い事だと思つてゐた、今回農商務省の指令により朝鮮米十餘萬石を買付た小西を苦しく非難してゐる京仁人士の中には一月も前から小西一派にいくらか高値で盛んに米を賣りつけ、又仁川の定期でも大に賣りに廻つて例の

▽物議を惹起 した解合をせる人もあるやうだ、それらの人は京仁に米が乏しくなつて自分の精米所の用米を無くするやうになつた利害關係より騷ひでゐる者もあるやうに聞く、それは自分の不明を棚に上げた公私混合の運動であつてそこに脫線もあれば聞き苦しい主張も生れて來たのであるまいか、一體最近鮮內の米價は少し上りすぎてはゐる、小西の買附、出兵氣構へ……愈々出兵となれば軍需米は當然朝鮮から供給する事になるであらう、內地の暴風雨とが直接間接に原因をなしてゐるから、此際鮮內在米を調ぶるとか非常時節に

▽廻穀を要望 するとかして米價の緩和を圖る事は極めて必要であらうが、總督府に小西一派の買附米の移出禁止を要望するなど、云ふ論は一種の防穀的處置であつて非常の事變に際せぬ限りやる事でもなく云ふ事でもないのである、乃ち假へば鮮內大不作で飢饉に瀕したとか、鮮內在米調査の結果數境明までの需要米に大不足を生ずる事を明らかにしたとか云ふ場合でなければならぬ、現今鮮內在米の實數は詳細に知り得ないがまだまだ移出餘力のある事は當局も認めてゐるのである、かゝる際に移出禁止を叫ぶのは實に變なもので

▽正に脫線 と云はねばならぬ、序に米が高く成つた成つたと云ふ勿論今日の値は若干高過ぎやうが、米の高いと云ふ事は朝鮮にとり慶幸此上もない事である、何故なれば朝鮮の主產物は米ではないか、移出品の大宗は米でないか、昨年來朝鮮の富力を著しく增進せしめたのは米の値上りではないか、朝鮮財界を好調ならしめてゐるのはつまり商品の賣行きを盛んにし銀行の預金貸出しを膨脹せしめてゐるのには米の値上りが最も與つてゐるか、歐洲戰爭の影響を朝鮮で何が最も受けてゐるか、鐵、棉花各種事業の勃興鑛業の擬起色々あらう然も最も大なるものは

▽米の値上り ではないか予等は米に對する一部人士の言動の今少しく大局に着眼し今少しく冷靜ならん事を望む

◎浦鹽仕向貨物

本年六月分浦鹽仕向元山港通過貨物數量を見るに落花生豆一萬五千斤(千五百圓)茶七百七十斤(百五十七圓)蔬菜漬物六千十四斤(百二十四圓)鷄五千八百斤(四百圓)陶器一千九百斤(百圓)帝一千三百十九圓(數量未詳)合計價額三千六百二十圓なり而して貨物の全部は支那山東省產にして芝罘より海路仁川を經由し仁川より更に陸路元山に運送し同地より海路浦鹽に仕向けたるものなり

◎定例長官會議

二十三日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め各部局長官參集諸般政務に就き夫々審議する所ありて正午散會せり因に同會議は例年の如く暑中休暇中は一週一回(火曜日)開會のことゝなれり

◎地方費賦課金額

大正七年度地方費賦課金徵收額四月末日現在各道別を示せば如左

▲合計之部

道名	調定濟額	收入濟額	收入未濟額
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

部	調定濟額	收入濟額	收入未濟額
▲地稅附加稅之部	二〇一	一	二〇〇
▲市街地稅附加稅之部	八、九八六	五、五四六	三、四三九
▲市場稅之部	二六、〇六九	一七、二九〇	八、七七八
▲屠場稅之部	二〇、五一九	一三、五八一	六、九三七
▲屠畜稅之部	七、九九四	六、〇四八	一、九四五

殖銀設立彙報

▲株式申込口數 朝鮮殖產銀行株式募集に應じたる株數二千五百萬株の口數は總數約二萬二千口にして內內地一萬八千餘口朝鮮約三千九百五十口滿洲二百十八口となり居れり

▲募入方如何 應募株數の募入方は近く歸任する鈴木、美濃部兩委員の著京後常任委員會を開き八月十日までに決定それぞれ通告する筈にて方法未定なれど大體三百株以上の申込に對しては三百株に對し一株の割合を以て按分比例にてその割當株數を決定し之れにて第一の募入株を決定するに至るべし然れども右募入方法にては端株(例へば四百株の申込みは百株の端株を生ずるなり)及び三百株以下の申込みが切り捨らるゝ事となりてそれ丈け不足を生ずる勘定なれば此の不足に對しては殘存端株及び三百株以下の申込みに付申込株數の多少に應じ適當の割當株を定め抽籤によりその募入者を決定するに至るべしと

▲證據金集中 內地にては殖產銀行株式申込證據金全額を朝鮮銀行に集中する事に決定せし旨東京電報は報じ來れるが右は取扱ひ店にて既に振替申込みの取扱ひをなさゞるべしとの申合せをなし居る以上今回の取扱高は全部現實の申込みなりと見るべく從つて證據金の集中は問題ならずとの見地に立ちたるものならんが兎に角大阪增田の如きその取扱四百餘萬株に付一千二百萬圓の證據金を鮮銀に移送せざるべからずその他增田の如き竹原の如き紅葉屋の如き三百萬圓より六百萬圓の證據金を調達の必要あり右の中果して幾千の振替申込みありしかは問題とするも左樣の多額の資金を調達するは現物關には苦痛なるべしと云ふ人もあり尙ほ急激に多額の資金を移動せしむる事は金融界に影響あるに付成るべく徐々に集中する方針なる如し

▲鮮滿集中せず 朝鮮及び滿洲に於ける申込證據金は別に鮮銀に集中するの方法をとらずと

▲プレミアム 朝鮮殖產銀行株式はその應募盛んとなりし結果早くもプレミアム四六圓見當と稱し京城にて權利を賣出したる現物屋あるが東京にては一株の權利十二圓を唱へ居れり拂込終了頃までには尙ほ上向くべきか

◎徵稅法の改良 賦課物件異動調查

京城府にては從來移轉其他の事故の爲め納稅告知書配達不能還附者續出し居りしが此の賦課物件の異動に關しては府稅務課と警察と連絡を執りこれが防止に努め居れるも更に其の徹底を期せん爲め昨年度に於て家屋に就き府內五十四町洞一萬二千二百二十六戶の戶別調查を爲し約五分に相當する當然屆出づべき異動の無申告者を發見し之が爲め從來行方不明等に依る事故五六百件のもの僅々二件に止まる好成績を示すを得たりされば本年度に於ては七月より八十九町洞二萬一千戶に對する戶別調查を爲すべく着手中なり尙市街地に就ても同じく本年六月より府內七十六町洞に亘り一萬五千筆に付來年三月終了の豫定を以て調査に着手中なるが現在實査の結果に依れば地目を變更(田を宅地にせし等)せしに拘はらず無申告の者あり是等に對しては充分注意を爲し居れるも之を法文に照せば『發申告を僞り又は怠りし者は科料に處す』とあり府に於ても徵收狀況に鑑み今後は徹底に處分勵行の由なれば此の點一般に注意を望む由なり尙仄聞する所に據れば從來國稅當番滯納者約四百人餘なりしも本年に入りては激減し目下の過科息勤定に依る當りは約十二三名を算するのみとなり頗る好況を呈し居れりと

◎京城國稅徵收狀況

京城府管內に於ける大正七年度第一期地稅及び家屋稅徵收狀況を聞くに地稅に於ては調定額八萬九千九百六十九圓八十錢納稅人員二萬九百七十三人の內六月末日現在に於て滯納者一人此の金額十九圓五十八錢の處處分の結果七月二十日現在に於て四圓餘の未納あるのみ又家屋稅に於ては調定額二萬七千九百四十九圓此の人員二萬二千五百二十二人の內七月繰越滯納者三百九十八人此の金額五百三圓餘のありしに處分の結果七月二十二日現在に於て十四圓二十一錢の滯納あるのみにして本月中には完納の豫定なるが之を前年度同期に比するに好成績を示せり尙之が原因としては從來の一時的居住者漸減し漸次府內土著的氣風增進せし結果ならんも又一面別項記載の如く賦課物件の異動調查實施に依る所多大なりと

◎京城銀行成績

京城九組合銀行七月十五日現在に於ける預金貸出現計は左の如し

預金

種別	金額
定期預金	九八三、三三六三圓
當座預金	七〇三、一八一〇
特別當座	五三五、六二四二
諸預金	二〇二七、八三六六
合計	四二四九、九七八一

貸出

種別	金額
貸付	二三八、八三五八圓
當座貸越	三四一、六二一八
割引手形	二〇六九、一五〇八
荷爲替手形	二四、七九六八
合計	四四七四、四一一二

◎前週手形交換高

京城手形交換所に於ける前週中の交換高は三百六十一萬五千三百五圓五錢にして此の枚數一萬一千六百三十八枚なり之を前々週に比し金額に於て十六萬七百十圓を增加し枚數に於て二千三百八十五枚を減ぜり

◎京畿物產販賣會

京畿道に於ける商工業の改良發達を圖らん爲め道內製造品を陳列し廣く觀覽に供すると共に其の販賣を爲すを目的とすべく京畿道物產陳列販賣會を來る十月十七日より同廿七日迄十一日間永樂町總督府商品陳列館に於いて開催する事となれり同會は事務所を京畿道廳內に置き出品希望者は八月末迄に所管府郡廳を經て事務所宛提出し許可を受くべく出品物は十月十日迄に會場に送附すべしと但し京城以外の出品物に在りては九月末迄に出品物は京畿道管內に於ける製造に係るもの若しくは道外に於て製造し管內に於て販賣するものにして種類は織物、編組物、紙及び紙製品、文具、煙草品、木竹製品、金屬製品、肥料皮革製品、編織物、油脂製品、人蔘及製劑製藥漆器冠物、染料及塗料醸造物等の一切なりと

◎鑛業登錄(自七月十三日至同十五日)

▲鑛業權設定

タングステン鐵 京畿道始興郡果川面東面 八十二萬七千九百九坪 朴泳孝、李完用、宋秉畯、尹德榮、閔泳徽

金銀鑛 忠淸南道洪城郡洪東面 三十九萬八千二百五十坪 河村與太郎、福田長之助

鐵 平安南道价川郡北面 三十八萬八千八百五十坪 中司信一、柿寅基、金寅河、李峻基

黑鉛 平安北道寧邊郡城面 三十二萬二千四百十五坪 齋賀仁三郎

▲鑛業權移轉

[illegible] 七月十五日 若狹 岩市
同 平安北道宣川郡南面 同 大阪窯業株式會社
同 同 義州郡水鎭面 同 同社
同 同 楚山郡江面 同 同社
同 同 定州郡高峴面 同 同社

▲鑛業權表示ノ更正

金 鐵 平安北道朔州郡水豐面 鑛種名チ金銀鉛鐵ト更正ス
タングステン鐵 忠淸北道[illegible]郡[illegible]面 鑛種名チタングステン銅鐵ト更正ス

▲共同鑛業權者脫退

金 全羅南道羅州郡本良面 李承煥任意脫退ス

◎岡本大佐少將說

來るべき陸軍の大異動に於て第十八師團參謀長騎兵大佐岡本功氏は陸軍少將に陞進某要職に轉ずと

◎國澤理事長動靜

國澤滿鐵理事長は二十二日午後六時五十分著入京二十三日は午前中久保京管局長上田秘書役帶同總督府に山縣政務總監を訪へり廿四日午前九時五十分發列車にて北行すと

◎松永長官視察

松永京畿道長官は水原郡廳並に慈惠醫院視察の爲め二十三日午前八時四十分南大門驛發列車にて出張即日歸任せり

◎和田課長出張

鐵道局管理課長和田騰氏は或る重要々件を帶び往復二週間の豫定を以て二十三日附大連へ出張を命ぜられ不日出發すべし

◎金久保少將送別

旅順要塞司令官に轉じたる金久保少將送別のため二十四日午後七時より龍山軍司令官々邸に於て晩餐會を催す可く山縣政務總監以下總督府各部長官出席すべし

◎副總裁歡迎說

京城銀行集會所にては二十二日午後七時より千代本に於て鮮銀副總裁を招待歡迎宴を張りたるが西村一銀支配人の挨拶に對し副總裁の謝辭あり九時過ぎ散會したり

◎關屋局長講演

二十四日午前十時より附屬普通學校に於て目下開會中の公立普通學校教育講習會員に對し關屋學務局長の朝鮮教育に關する講演ある筈

◎東京支局移轉

本社は今回東京支局を麴町區麴町三丁目二番地に移轉し廿二日より事務を取扱ひ從來に比し一層敏活なる通信連絡を取る事となれり

◎取消

本月二十一日夕刊一面『仁川取引所解合說』の記事中 總解合に就き今村、內海兩店より淺野委員長に解合方依賴したるより遂に仲買人臨時總會を開催したる旨報道せしが右は事實相違の點あり取消す(仁川)

人事消息

▲小濱成九鐵業技師 二十三日朝退京南行
▲北村同上技師同上
▲岩賀榮次郎氏(總督府醫院長) 二十二日夜內地より歸京
▲岡田[illegible] 二十二日夜大阪へ
▲河井朝鮮郵船會社重役 二十二日午後大阪へ
▲小野軍參謀 龍山軍司令部第二師團檢閱隨行のため廿三日午後七時龍山發北鮮に出張

茶前酒後

◎西部戰線の獨軍大攻擊の鋒先を見事に打折らる戰闘力衰退の兆か
◎本國議會にては軍事增稅に對し惡疫流行饑餓者頻々獨帝を惱ます
◎上海共同租界にて日本巡查支那巡警に襲はれ日邦人商店被害多し
◎露國輸車と云ひ日支親善と云ひ果して何の日ぞや支那の誠意を疑ふ
◎佛文壇の明星備得爲知筆を投じて軍に從ひ伊の文豪依然從軍奮鬪
◎海上飛機を指揮し墺國軍港を襲うて成功筆陣驍將戰陣の勇者
◎支那亦西伯利に出兵す各國傭兵は敢て珍らしからず英米も皆然り
◎滿鐵滿鐵土木工事用の苦力募集輸送す營口に上陸するや逃者多し
◎爰ぞ知ん逃走者は皆參天傭兵と化す旅費萬端を支拂し滿鐵は啞然
◎支那の傭兵は一種特別也斯くて之等が堂々軍隊として各國兵と活動
◎出兵問題より原加藤兩總裁相照の見得にて大に有卦に入れり
◎之と相照して犬養木堂頓と人氣揚らず先年の雄辯は近時沈默の評
◎往年學堂が愕堂の故智に倣ひ木堂は自今默堂とは噬分の皮肉評
◎近時東京にて厚輕無輕洋服に杖を突きし泥人形を緣日で賣る者在
◎此人形は隈侯にて輸出向なるも停止せしより安價に賣るとの口上
◎奇拔も度を越れば惡化隈侯も凡人の手に掛れば遣り切れざるべく
◎大塊翁原總裁に盛に時局を論じ九州辯にて威張り判らず總裁閉口
◎元田君見兼ねて傍より通辯の役を取るとはまさか總務ぢやもんのか

大正七年七月一日改正現行

[illegible]

○邦人を目の敵にする 支那巡警の暴狀

上海支那巡警暴行事件詳報

犬猿的の復讐觀念から日本人とさへ見れば袋叩きにせんとする惛むべきその暴狀

既報上海共同租界の邦人巡査凌辱事件につきて探知するに日本巡査森正義(三二)を始め柴、中江、城間の四名が某夜の夜間勤務中非常警笛を耳にし驅付けたるに正服の本中警察署支那巡警約百名突然市場附近より現れ前記四名の

◆巡査を包圍し 手に々小銃、棍棒を以て襲撃し森氏は携帶のピストルを強奪されたる上袋叩きとなり後頭部に重傷を負ひて倒れ他の三名は八方毆打の中を潜り辛うじて逃れたり、この不穩の物音に官舍を出でたる日本巡査福田貞次(三四)は吳淞路の街上にて之れ亦狙撃され右足動脈貫通の爲め即死せり更に支那巡警は何事も知らざる通行の日本人さへ見れば悉ち包圍して袋叩きとなし盛んに發砲し鬨の聲を擧げ文路の日本人商店を破壞し

◆多數の匪徒 も之に應援して暴行は二十日午前二時半に至れり此の騷ぎに婦人一名及び通行中の日本人七名重輕傷を負ひたり約百名の日本人は二十日午前四時迄日本人倶樂部に避難せり日本總領事館は共同租界工部局警察署長に交渉したる結果二十日午前二時半全部の支那巡警を警察署内に入れ武器を取り上げ印度人巡査を交代せしめ一日鎭靜に歸したるが此の解決如何によりては事件は更に重大となるべく日本人側の激昂一方ならず原因は去る十七日夜上海碇泊中の

◆日本軍艦の 乘組水兵二名が支那時計商店に入りたるに支那巡警は突然兩兵士を拉致し事ありしが之を見たる附近の日本人は餘りの暴狀に其引渡を迫り一種の紛擾を惹起せるが結局水兵は直ちに放免され工部局より謝罪して落着したるに附近の支那人は之に對し復讐せんとの風說あり警戒中十八日夜十二時頃吳淞路にて又復支那巡警と日本人との間に衝突あり十九日に至り日本人は已に事件は落着せりと信じ領事館の訓示により外出を愼み居たる時突然武裝巡警の襲撃を受けたるものなり(上海電報)

▲某外人に煽動されて

爲せる支那巡警の邦人巡査攻撃動作は秩序整然たりき

上海共同居留地に於ける日本巡査凌辱事件は益々擴大し我軍艦より陸戰隊上陸せり暴行の原因は支那巡警が邦人に對し爭ひし爲め支那警察が之を懲制せしに際し某外人が支那巡警を煽動せる爲にて彼等の邦人巡査を攻撃せるや極めて秩序立てる行動を爲せり(上海特電)

▼子供相撲(旭町二丁目にて二十二日夜所見)

○自動車一時に二名を轢く

忠州行の乘合自動車 黃金町三丁目路上で

京城黃金町一丁目京南自動車部にては二十三日朝忠州行きの客あり自動車不足の爲め寬動洞閔大植所有の廿五號自動車を借入に運轉手は黃金町四丁目居住の朴善明(二二)が乘り組み

▲乘客を 載せて忠州に向け出發し午前九時頃黃金町三丁目首藤酒店前を疾走中突然横合より黃金町二丁目綿打業李圭泰の母金召史(七〇)が街路を横切らんとして車輪に觸れ右腕前膊骨を骨折されしが自動車は急遽停車せんとして通行中なりし三坂通の荷車挽き張元寶(三〇)の

▲荷車に 突衝し其の餘勢にて元寶は腰部を強打されて一時人事不省に陷り自動車は前輪の心棒曲りたる騷ぎに被害者兩名を直ちに最寄りの實費診療院に擔ぎ込み應急手當を加へしかば何れも生命には別條なかるべしと急報に接し本町警察署よりは係官出張して檢證の上運轉手譯明を引致し過失傷害として取調べ中

○幾多の船で

擢浚って去く 仁川の實米

小西一派の買付けた實米積取りの爲めに殆んど端睨を許さぬ迄に夜けが濟むこ陰に這入つて隱に出て行く素早しこい行動を取る船は最近にもう

▼五六隻を 數へた廿日に出て行つた君が代丸を手始めに二十一日には大二深川丸が一萬一千五百叺を呑み込んで行くかこ思ふこ入れ代りに仁川に入港したのが二十二日八代丸(四五〇噸)に帆海丸(四二〇)の二隻續いて

▼三十日に 君が代丸こ續いて這入る豫定になつて居るが之等の汽船が一隻來れば來るだけ仁川の米は浚はれて

▼倉の中は 次第に空になつて行くのである今迄の數量では棧橋の直前に增らしい白色の艀船を横へ雨腹に數多の艀船を吸付けたまだ大した事は無いけれご今後…

▼八代丸が 軈て豫定の八千八百叺を積み込むこ今晚にも出て行くこう云ふのである此の數量を加へるこもう二萬數千叺に達する帆海丸は何が爲めに仁川に陸…

▼其儘空船 で群山へ廻るこ云ふから軈て魔の手は群山に現はれて同じ買付けの實米を擢浚つて行くに相違ない次いで來るべき大有丸も今の處ではまだ稻荷の數量は

▼確實て無 いが總噸數六百五十噸こ云ふから何れ…はずこ知れて一萬やそこらは平氣で積み出すに相違ないこ噂されて居る(仁川一記者)

○艦長正木鬼大佐 泣いて弔詞を讀む

の時、三萬の遺族會葬者は聲を呑みて歔欷嗚咽したり

盛んなりし河内殉難將卒の海軍葬儀

河內殉死者六百十五名の將卒並に機關中佐以下の海軍葬儀は二十一日午後一時吳海兵團練兵場に於て執行されたり祭壇には六百十五の位牌は五段に配列され之に遺骨箱を列し左右には天皇皇后兩陛下東宮殿下伏見宮家より御下賜の榊あり之に續いて寺內首相以下寄贈の花束花輪は數百に達したり海相代理島村軍令部長以下山下、加藤各長官野間口兵學校長以下親任官次いで山口廣島兩縣知事第一艦隊吳鎭守府の各將士二萬之に各種團體、學校等にて一般會葬者併せて三萬と註され畏くも天皇陛下には四竈侍從武官を東宮殿下には及川武官御差遣あり神官百廿、僧侶九十參列喪主河內艦長正木大佐は弔詞を朗讀したるが其の悲痛の個所に讀至るや一同涕泣鈴木少佐以下河內の生存者四百五十頭を伏したり喪主より遺族總代こして假島故機關長夫人、故中村軍醫長夫人が手に可憐なる三兒こ共に禮拜せるには三萬の會葬者を泣かしめ三時散會したり

○嚇こ怒つて唯一突に刺殺す

今朝舊練兵場で

人夫監督の鮮人殺し

二十三日午前八時頃龍山舊練兵場に於て群馬縣吾妻郡高山村生れ當時京城三坂通モルモット飼育所內山田治郎(三二)は京城吉葉町三丁目飲食店李順非方雇人鄭昌俊(二三)こ

▲口論の末 六寸五分の短刀を以て左胸部に突刺し即死せしめたるが原因は被害者鄭昌俊が陸軍新營工事場に來り作業中なるにも拘らず人夫に對し草鞋其他の雜貨類を供給せるを以て人夫監督なる山田が之を禁止めんせしに

▲被害者は 暴言を吐きたる上山田の胸倉を取つて詰寄元に推摺り行かんとせしより前夜來飲し宿醉未だ醒めざりし山田は憤ごなり突然懷中より短刀を引拔いて突刺したるものにて被害者は現行現場より約六十五間許り逃げたるも遂に絶命したり此時まで餘りの暴言に

▲小面憎し こ思ひ居たる三百餘の鮮人人夫は絶命こ聽いて被害者に同情し加害者を取圍んで袋叩きにせんこしだるより憲兵分隊より憲兵補助員急を聽いて驅けつけ漸く加害者に保護を加へ一方人夫を解散せしめたる後引致したるが一時は中々の騷ぎなりしこ

○怪しい洋傘こ靴百餘點を

警察署へ陳列

古道具屋から引上て盜まれた人は無いかこ

京城本町警察署にては豫てより管內に於て靴及び洋傘等の小物の盜難に罹るもの多く被害者より屆出に依り其の都度犯人の搜査に從事し居れるが犯人は逮捕しても現物は容易に發見し難く殊に靴及び洋傘の如きは類似品多く被害者は全く取られ損になり易く爲めに本町署にては頃日管內居住の各古物商より贓品の疑ひある前記二種類の現物數百點を一時領置し同署構內に於て二十四日より一般の參觀に供する由なれば心當りの向きは同署に出頭觀覽すべしこ

○急行列車延著

二十三日南大門驛に到著すべき安東縣發義線の急行列車は平壤附近にて機關車に故障を生じ約三時間遲著せり

○兩班の美擧

全南順天郡月燈面の兩班金學模氏は今回郡內十四面の各面基本財產へ金二百圓宛合計二千八百圓を寄附せるが金氏は郡參事兼務員たる實弟金學洵氏こ共に溫厚の德望家こして知られたる人なり

緩衝機

(寄書歡迎)

活氣なき龍山　龍山　龍眠生

◆『愈々新設師團が出來れば此の龍山も日進の發達を來たしますよ今に見て居なさい漢江通等は龍山の銀座ですよ』と新設師團が愈々出來ると云ふ二三年前龍山の人達はこんな噂をして悅んだものだが既に新設師團が設置されて茲に幾年の日月が經過した今日幾何景氣の色を添へたであらうか私は今に其の色を見出す事は出來ないのである

◆四五年前に日進月歩を豫期した龍山の町は四五年後の今日幾何の進歩を見たであらう勿論急速の發展は出來得べきものではないが町並の家は何れも淋しい昔の儘ではないか殊に漢江通の眞唯中その鐵路から乾ら出る荷車には幾何の人が乘つて去來するか實際龍山の消息は此の間に…た印してゐるのではあるまいか

◆春夏秋冬幾度か來る龍山の町には一つとして賑やかな色彩を添へた日はない、散步期に入つた此頃の町にも更にそれらしい彩も見出ぬのである唯僅に三角地を中心として納涼客の姿を見受けるのみではないか此頃誰も彼れも『龍山は淋しい處です』と溜息を洩らすのである

◆龍山は何故に寂の一字を脫し得ないか龍山の商人が生活の根據とする鐵道社宅もあれば陸軍官舍もあるそれに何故に龍山の商人は是等幾千の人達を利用し得ないか是れには何等かの原因が潜在してゐなければならぬ陸軍、鐵道を關係する龍山商人に一大痛棒を加へたものは外ではない二者何れも購買機關を有してゐる事と京城と云ふ便利な土地が接近してゐるとは確に龍山の商人をして大打撃を蒙らしたのである

◆猶之れのみならず龍山で充て物價が京城に比して安くない事は是亦此地の商業史を貧弱ならしめた要素であらう餘々幾何も距たぬ京龍にして何故に物價の差を生ずるか、此事に就ては一兩年前京日紙上にも書いてあつた樣に記憶するから私は今更之を繰返しはしない

◆要するに龍山は何故に商業として發展し得ないか何故に商人として活躍し得ないか何故に今の如く…か精氣消々たるの觀があるではないか終りに…家若しくば企業家の發奮を望む

古市町道路改修に就いて　古市町　ケーオー生

◆古市町の道路擴張改修は去る五月工事に着手するとの事であつたが、當局者の都合で延期されてゐる、何時迄延期されるのだらうか。其れが爲め、吾々古市町住民は困窮迷惑してゐる

◆自己の都合が都合上他の處へ移轉することが不可能と言つて、家屋を修繕する事は額の費用を要するので、改築が目前に迫つて居る有樣である

◆府當局では今如何なる方針を立てゝ居るか。兎に角、道路の擴張改修が行はれて、京龍間の交通が便にするは、大に慶賀すべきであるが、其工事に一日も早く着手完成せしめて氣迷ひで居る我々古市町住民に安心を與へ、且つ、人車馬が自由に交通出來得ることを熱望して止まない者である

◆吾々は、若しも工事が來年に延期せらるゝ樣であるならば、荒れた家屋を幾分でも雨露なしのぎ得るだけに修繕せねばならぬ。古市町道路擴張改修に就いて愚考を披瀝し府當局に敢て問ふ次第である

西鮮お伽旅日記(十)

◆[illegible]州◆　淚光生

◇昨夜の疲れも癒やす術なく一番列車に驅け付くれば、眠たげなる旅人の顏、すべて朝の風に洗はれてあり、軈て列車の人こなる、四邊の風物、悉く露をおびて床しく見ゆたり、車中には通學の兒童多し、內地の方寶せるを思ひてそゞろ同情の念禁ずる能はざりき、定州に着けば若松小學校長出迎へらる

◇先づ旅館に入る前に販賣店を訪へば主人不在にして通知の封書も開かれず何等の準備もなしと只いふ若松校長は新聞にて承知し、何處からも通知なきも心まちに待ち居たるなりと、一先づ旅館に落付き校長の一方ならぬ御心配にて午後より開演したるが、小學兩校の生徒は申すに及ばず父兄母姉の參會頗る多く大盛況を見たるは却々愉快なりき

◇夜は郡庶務主任の小田氏、松本管理者、丸毛普通校長、若松小學校長と語り合ひ就寢更くるもつきずまた得る處非常に多かりき

◆安州◆

◇曉の夢を破られて七時二十分發の列車で新安州に向ふ、安州館の一室に身體を横たふるひまもなし、日程外の安州より、學校組合の人來られ是非にとの御望みに午後一時からの此處に講演を濟まし後、流る、汗で綴るやうに濡れた洋服を改めて炎熱の山路を俥にゆられ汗をにじませて安州に入りしは四時、仙境の如き樹木にかこまれたる小學校には氣さくな校長以下、兒童敎育に熱心なる有志有力家達が旅の疲れを勞はらるゝに全く心地よく、只感謝の外は無い

讀者文藝

(一行十五字以內一人二首(?)を限る)

▲下付(?)淸水

淸水死地に活路を得し心地(二句)　秦天こもゐ

▲夏むが千雨の夏の旅　龍山岡本鳥石

▲老樹蒼苔神寂びて　宗邊寒扇子

▲やり媚しやさ手に掬ひ　京城春曙

▲一滴千雨の凉味あり　平壤鷗外生

▲汲む孝心が酒こなり　利川福井幸子

▲銘酒に勝る松の影　利川菊野喜太郎

▲納凉師斷に甦り　利川淚光生

○取消　二十一日夕刊二面仁川で積み取ろの記事中鈴木商店員の談こあるは他店の間違ひに付取消す

灯ともし頃

▲大阪の…京城興行以來天…や一部の…者間に一種の…和の女神の…で歌った『彼岸(?)の……』こいふ唱歌が流行してゐるが▲近頃また…夜藝術座が出したトルストイの『生ける屍』で、須磨子のフエーヂャが…つた『さすらひの歌』こいふ唄が今頃…はつて來てこの一連の間に流行かけてゐるこの歌は歌詞自體に『カチユーシャ』の唄程輕妙な調でなくいかにも悲哀を帶びて居り暗い灰色の陰鬱な歐の天地を思はせるやうな悲調を帶びたものである▲大正…では三四月中に日活が最近の傑作物である『生ける屍』を上場するこ同時に施々『さすらひの歌』を唄ふ專門家が來るさうだが▲『カチユーシャ』の歌こ同樣に又若い連中の間に流行することだらう▲若い盛りには蓄音機が盛んに流行するが蓄音機で唄行を引くこ…治らぬさうだ▲何んだも大阪の醫者が二人燒いさいふので夜を徹し交代で蓄音機を鳴らし涼しいこれさ喜んでゐたさころ一人はその翌日に死に他の一人は二三日經つてから死んださうだ、他山で注意すべきことだ

讀者文藝　課題及び募集規定　募集規定　▲用紙は…　…又は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外…氏名明記の事

仁川期米

◇二十三日後場◇

東京前場	一節二十七圓五十錢　二節…　三節…
後場先限	一節二十三圓八十三錢　二節一錢八十錢　…　…

仁川米豆取引

二十三日の九月限

○連絡船上陸客

二十二日午前入港愛丸二等客…　一等…名…

天氣は

晴一時曇

商況

東京期米特電

二十三 前場	當限 二十九圓九十五錢　中限 二十九圓四十錢　先限 二十七圓四十九錢

兵庫期米特電

未着

大阪株式特電

銘柄	拂込	廿二日後場
宇治川水		
阪神電鐵		
東洋紡績		
合同紡績		
鐘淵紡績		
同上新株		
東洋製糖		
大阪商船		
日本郵船		
同上新株		
堂島米穀		
東京株式		
大阪株式		

大阪三品特電

	前場
七月限	未着
八月限	
九月限	
十月限	
十一月限	
十二月限	

大阪期米特電

立會停止

下關期米特電

二十二日後場

	當限	中限	先限
寄付			
高値			
安値			
止め			

雜穀

◎正米は軟調

…に暴騰に次ぐに暴騰を以てせし…狂的に新高値を追ふに至り…には日本種玄米の二十七圓さいふ空前の珍高値を演出したるが値頃漸く行詰り

軟化し初め買人の見送りで多少の賣物を見るに至れり今朝の見…日本種玄米二十六圓七十錢在米二十六圓十錢…二十九圓五十錢

八氣一變

○丁內外の低落

…最高値より四十錢…

すべきか將た反對にチリ々盛…之を動機として更に漸落を促すか目下氣迷ひの狀態にある…市場は其後二三十丁方の反撥を…方面とは今尚相當開きあるを…なる當地なれば當分商…下値は期待し難しとの觀測多く行はれ居れり

○在庫外米商談

…米商店の輸入に係る仁川在庫外米は此處手放しの好機として…今出しせらるべしとの噂…りしが一兩日前當地手筋…間に商談あり買人は南大門…百斤九圓五十錢…九圓三十錢に傾向しだ…まる模樣なりしが此機先正米市…況一變したる事とて買方の手を…引きたる爲め遂に商談調はざり…今日の形勢にては九圓も一足りなり

◎雜穀は強硬

…漸騰歩調を繼續したる爲も可なりの値段に達せし事とて…の姿なりされご現物は依然在荷薄の折柄最近高値の入電もあり…仲間取引益々頻繁なれば目先上進は免れざるの狀況を呈する又前途漸く活況を呈するに至りアンモニー…の申請に於て幾分品薄の…振合なるより引き續き騰勢…四圓方の引締りを報ずる…地相場は最近各二圓乃至…

亞鉛

…は…相當高値…上げの程度に…

錫

は引續き…

○白米弱含み

…は別項の如く原料の下押し模樣に連れ人氣漸く軟弱の傾きあり…一部精米所は市中賣値を二三十錢方引下げ…在來…三十二錢五厘の間を持合居れり

八十錢…三十一圓七…

○關東麥市況

大麥…は一時に暴騰せし強…買盡されたる…

小麥

…は…

麥安…

○支那粟頓挫

○金箔終に暴騰

下押しして約二十錢方

糯は品薄高

一段の強見越

○干瓢又引緩む

一圓の下押方

追々新物の

出廻るに漸落

○生果類鈍狀

下關相場

各地商況

◎鎭南浦　二十二日

▲正米…

◎大邱　二十二日

南大門廻穀

仁川正米

生魚市場

仁川期米

二十三日前場(結局保合)

十二錢高に寄付き 九十五錢と上伸せ 七十五錢と

瓦落して先八十七

錢と上放れ

小波瀾を繰返

○期米更に暴落

放れ受けて八十七錢

返し高値は買物

薄に七十九錢と押

順氣響の賣人氣

旺盛

市場雜觀

上放れ入電に更に

折柄東京の

八十七錢と上伸し

戾しは順氣響めの

賣物多く忽ち瓦落

下鞘

東京先限の

三圓六七十錢

買人間に未だ計算

客筋對仲

仁川米豆取引所

廿三日の九月限

株式會社仁川米豆取引所仲買人

全　高田仲買店

仁川海岸町三丁目

電話長一一九

白米小賣値　一等白米　二等白米

白米標準値

◎南滿の機業 奉天織物業(二)

◇生産組織 當地方に於ける機業は、彼の日支交渉以來日貨排斥、國產奬勵の名目の下に、一部に愛國布なる名稱を附し（勿論綿絲は重に日本より輸入したるものを使用し、唯之を製織する丈けにて極めて意味不徹底なる日貨排斥、國產奬勵なり）盛んに製織を始めたるより一時に機臺數を增加し、今日に至りたるものにして、多く農家の副業として自家用に供するか、又は一部を販賣するもの其の大部分を占め、專業を營むものは僅少に過ぎず。而して此等副業的のものをも合計せば、奉天附近に於て約三千臺を有すべしと云ふ。然れ共織機約百臺以上を有するものは三戸、十臺乃至二三十臺を有す機業者らしきもの六七戸七八臺乃至十臺位を有するもの約三十戸に過ぎずして、此等の四十戸（運轉臺數約八百臺）は機業家として農閑を利用して製織する位のものにして言ふに足らず。就中最も大なるは不增利にして、三工場を有し、其織機二百十臺、職工五百人なり次いで同興泰、義元盛各約百臺の織機を有すと云ふ。之等は何れも愛國布を製織し居れり。

◇生產額 到底正確なる數字を得難きも、奉天附近に於て消費せらる、綿絲は一箇年五六十俵位なるを以て、一俵約八十疋を製織すとせば四五十萬疋となり、又運轉すとせば三十六萬五千疋となして、千臺の織機一箇年を通じて機臺一臺を以て一日一疋を織ることを以て先づ一箇年の產額四十萬疋內外と概算せば大差なからんかと云ふ。

◇織上高 普通職工一日の織上高は、粗布一疋（百尺）大尺幅二疋乃至三疋（二疋は二十碼）愛國布中平織は六丈、紋織は五丈を織ると云ふ。

◇職工 殆んど全部男子にして準備工程の一部に稀に女子を使用することあるも、其數極めて少し寧ろ全くなしと云うて可なり。職工の雇入は稀に紊亂あるものを雇入ることもあるも、普通は徒弟として三年間の年期にて雇入れ、最初は綿絲より製織に至る迄を修得せしむ。而して徒弟の間は一箇年十圓或は一箇月一圓乃至一圓五十錢を支給す。斯くて一人前の職工となれば其の技倆及織物類の種類に依り、一日二三十錢乃至七八十錢を給するも、平均三十五錢內外にして、食費は總て雇主の負擔なり。而して勞働時間は現今は朝四時より午後七時頃迄なるが、要するに日中のみ勞働に從事す。休日は舊正月に於て約半箇月、五月、八月等の節分に四日間休むもの多し大規模のものに於ては每月一日、十五日の兩日に休業す。

◎白井將軍談 安東縣に於て

旅順要塞司令官から第八師團長に親補せられた白井中將が安東縣驛に迎へ祝詞を述ぶれば將軍は左の如く語る（安東縣）

イヤ陸軍の事は薩張りお先真暗で京城で始めて電報通信にあつたから聞かされて始めて知つた樣な始末で、それから其の當時は恰も例のコルチャック中將一行が日本行の際であつたから是れと同行で何も仕樣ものなら水を向けられることになるが、話せば直ぐ話さない譯に行かない、話せば直ぐ樣泣言を聞かされる、聞けばツイつり込まれて外交的にでも同情の言葉が出ると、サア大變だと思つたからワザと京城に二泊して一行をやり過ごして出發したのだ、ナニ出兵問題だと、それは當然の成行きで寧ろ我々が云爲すれば我田引水論の樣に響くかは知らないが其の時機は屢々逸してゐたのだからネ、何と云うても東部西伯利の狀態が十分に了解されてるのは目下の日本としては參謀本部の右に出るものはないからネ、それをだ一日半夜哈爾賓の宿屋の內で實際家とか非出兵論者なごから非出兵を前提としての都合の好い話許りを聞かされて鵜呑みにして一應の通人となり濟ましてヤレ非出兵であるとかソレ尙早であるとかやられては實際堪まつたものではないよ、反面には感情問題が今回の時局に禍ひを齎して來るなごは實に慨嘆に堪へない處である、斯くの如き有樣では帝國將來の大政策を遂行する上に於て萬遺算なきを期する事が出來樣か、又東洋の盟主たる位置を完全に守る事が出來樣か誠に不安に堪へない次第である京城では往路遇々松川將軍も古海局長、立花兩將軍も皆不在で只僅に淵居局長許りで折角のお里歸りも淋しかつたが何でも此の八月の更迭發表と共に古海將軍も師團長として要職に就くだらうと云ふ噂だつたイヤ吾輩と金久保將軍とは妙な緣で今度は又同將軍が旅順に來ると云ふからネ、大邱でも――と將軍は快濶な態度で記者に語つた

◎問題の外國米

喰べねばならぬとすれば 何うして炊けば好いか

◇缺點を補ふ法 外國米とさへ云へば味が良くないとか粘りが少いとか又は臭いとかいつて必ず悪いもののやうに思はれて居るが原產地たる西貢あたりでは相應に甘味く喰べられて居るので玄米で日本へ輸送せずに精白してから日本へ輸送するため途中で他の石油や何や彼やの悪臭が移つたり又は船艙で蒸されてボロボロするやうになるのである、故に玄米輸入方法を講ぜなければならぬ而して現在の缺點として脂肪分と蛋白質の少いのは副食物で補ふのが便利ですが第一に粘り氣を補ふと同時に臭氣を去る工夫が出來たら先づ外國米食用法に成功したものだといつて宜しからう

◇糯を交ぜたら 外國米と日本米や麥や糯米を混ぜて出來るだけ甘味く喰べやうとした經驗家の實驗が左の通り澤山にありますが其なかでも一番に多いのは粘りを增すため外國米一升に糯二合から四合を混合したものです同じ外國米でも粘り氣に多少があるから自然糯を多くしたり少くしたりするのですが其の他の混合法を便利のため表で示します

◇交ぜ方の割合 （イ）最も多い方法 外米一升に糯米二合乃至四合を交ぜること（ロ）四分六分の割 日本米六合外國米四合の割にて炊くこと（ハ）三種の交ぜ合せ 外國米五合日本米三合、糯米二合を交ぜる（ニ）麥との炊交ぜ 麥一升外米一升に昆布の汁を入れて炊くこと（ホ）四分一の麥 外米一升に麥二合半を入れて炊けば味はひ甘し（ヘ）三種の炊き込 外米五合日本米四合麥一合の割にて炊くこと

◇之を要するに 外國米の粘りなきを防ぐ爲に少量の糯を混ずる方法は經濟上から云つても理窟からいつても適當だが、外國米と麥を混ぜるのも中々よいやうだが粘りは糯に及ばない日本米と外國米とを混ぜる方法及分量に就いて大に研究の餘地がある

◇自動車◇ 事務用と娛樂用

東京丸ノ內自動車營業部長 森四郎氏談

自動車はいろいろの點から觀察して之を分類することが出來る、即ち或は汽筒の數により或は乘員の座席によつて區分することも出來るのであるが今その用途の如何によつて大別すれば娛樂用車及び商用車の二とするを穩當とする、娛樂用車はいふまでもなく娛樂用に使用するものであるから其の主眼とするところは快走と美觀とであるから從つて其の構造も商用車に要するやうな堅牢を必須の資格としないのである、之れに反して商用車は營利の目的に使用するものであるから其の構造の堅牢なるを要するは勿論最少の經費を以て最大の貨物を運搬し得ることを主要なる條件として製作せられねばならぬものである

露出式と密閉式

次ぎに自動車は車體と車蓋との二部より成つてゐるものであるが其の車體の相異によつて分類すれば幌型（露出式）及び箱型（密閉式）の二に區分せられ更にその構造により種々なる名稱を有してゐる。今その主なる型種を擧ぐれば大體左の十種である

（一）チューリング型 此型は露出式で普に遠乘旅行用に供せらるゝのみならず市內一般の乘用にも適するものである構造は車體の兩側に扉を設け後室の背後に自由に折り疊みの出來る幌を取付け必要の場合には之れを擴げて天蓋とするのである座席は五人乘のものと七人乘のものとの二種がある

（二）ロードスター型 普通のは二人乘に適する露出式小型の自動車であるがまた四人乘のものもあつて市內の乘用及び遠乘に適するものである

（三）リムジン型 車體は密閉式で後室は全然覆はれその左右兩側に扉が設けてあつて且つ運轉室の兩側が開放せられてある自動車を稱するのである雨天或は嚴寒の際に專ら市內に於て使用するに適し乘員は五人乃至七人である

（四）ベルリン型 リムジン型と殆ど同一であるが只た運轉室の全部が覆はれてゐる點だけが相異の點となつてゐる

（五）セダン型 ベルリン型と同一のものであるが只運轉室と後室との間に仕切りがなく即ち共通に出來て居る一名を家族用車と稱する其故この型の運轉手は自動車の所有者若くはその家族近親であることを普通とする

（六）タウンカー型 四五人乘に適する車で後室はリムジン型の密閉式であるがその運轉室は全然露出式となつてゐる

（七）ランドレー型 總ての點に於てリムジン型と同一のものではあるが只た後室の天蓋の一部が皮革を以て製せられ必要の場合に隨時之れを開閉することが出來る點がリムジン型と相異してゐるのである

（八）クペー型 密閉式で二人乃至四人乘に適し車體はロードスター式車體にセダン式になつてゐる

其他尙ほコンバーテイブル、チューリング或はコンバーテイブル、クーペ若くはコンバーテーブル、セダンと稱する型があるがこれは疊み込むことが出來る天蓋や仕掛込むことが出來る硝子窓を有するとか乃至車體の上部を必要に應じ自由に取付け又は取外し露出密閉兩用に供することが出來る設備を有するものである、併し今自動車を購入しようとする人の爲めに假りに自動車の馬力を三十として一箇年の乘走哩數を五千哩（一日平均十三四哩）として其の經費を概算すれば次ぎの通りである

卅馬力で五千哩

先づガソリン費から計算すれば三十馬力の自動車を購入して乘用する場合にはガソリン一ガロンで十五哩を乘走することが出來るから五ガロン入一罐（時價六圓內外）のガソリンで七十五哩を乘走することが出來る、之れを一哩に割り當てると八錢となり一箇年の乘走哩數を五千哩とすれば其の費用は約四百圓ですむ譯である、次ぎにタイヤ費であるが今タイヤの耐久力は平均五千哩とし每年一組を新に求むる時には二百七八十圓を要する、次ぎに機械油であるが機械油は五合で七十五哩乃至百哩の運轉に充分であるから一ガロン入りの一罐の時價を二圓三四十錢と見積る時は一哩の平均は八厘となり一箇年間の乘走哩數を五千哩とすれば其の經費は約四十圓である

運轉手給料其他

次ぎは車庫に關する經費であるがこれは家屋稅、水道料、電燈料、掃除用藥品、其他の消耗費で又運轉手の給料はその人物と技能の如何に依つて上下の別はあるが目下のところ日本內地では一箇月三十圓乃至五十圓であるから其の平均を四十圓とすれば一箇年四百八十圓である、之れに附屬するのは運轉手の被服費一箇年約百圓を要するのである（自動車）

◎夥しき荒地 ◇災民を利用して開拓◇

東三省の荒地開拓問題は曩に黎元洪氏副總統の時代より盛んに唱道されたる所なるも爾來實現を見る事なく自然に遺棄せられ居るも三省中吉黑兩省は實に廣大なる荒地を有する事は世上既に定評あり然るに今更東省及び直隸山東の各地に於ける水災は近年稀なる慘事にして罹災地中九十七縣の耕地は殆んど農作の見込みなき迄の被害にして被害民は數十萬に達し爲に政府は當初より法を設け救濟に著手せしも固より普く救ふに至らず從つて各省慈善家の協助を受け居るも之とて永遠の計にあらず唯僅に一時を補ふに過ぎざれば豫て計畫せし吉黑兩省荒地の開拓を試むべく此の機會に於て各縣の災民を移住せしめば罹災者は生計の基礎を得國家は租稅の增收を見るを以て相互の福利なり而して移住に要する費用は政府之を負擔し吉黑兩省官省は冬季中の稅款を免除し移住者本は冬期中の糧餉及び家屋建築費等を籌辦する事と定め此方針の下に近く移住民を送る可しと（北京）

◎大連貿易額

六月中に於ける大連港輸出數量は二十萬六千四百六十一噸にして五月に比し二萬八千六十三噸の增加を示し其の品別は、大豆一萬九千三百十六噸、豆油一萬七千六百三十八噸、豆粕十三萬八千七百十噸、雜穀一萬二千五百六十七噸、其他一萬八千二百四十噸にて此の仕向地中朝鮮へ豆粕八十九噸、雜穀百九十一噸、石炭其他千百二十八噸、日本內地へ大豆一萬五千二百十四噸、豆粕十二萬三百三十七噸、雜穀三千百八十一噸、其他一萬一千六百七十噸、支那へ大豆三千七百七十三噸、豆粕一萬五千六百六十噸、雜穀五千百八十噸、臺灣へ大豆三百二十八噸、豆粕二千六百四十六噸、雜穀其他二百六十三噸、米國へ豆油一萬七千六百三十八噸、其他七千百八噸、南洋へ雜穀其他二百六十三噸なり（大連）

◎安東ホテル問題

安東太陽樓主船津房吉氏が極力經營に盡力して居たホテル問題の其後の經過に就き某方面より聞く所によれば船津氏と同樣の計畫で矢張り滿鐵に請願したものがあるとやらで滿鐵は是れが爲め『何れをあやめと引きぞわづらふ』式に兎つ追ひつ未だに決定せぬ模樣だ相ながら或は是が爲めに全部がおジャンにならねば良いがと氣遣うて居る向きが尠くない果して是れが事實だとすると折角力瘤を入れて居た船津氏に對しては實にお氣の毒であると共に來年の七月か八月かに全國木材大會も開かれると云ふ矢先第一番に困るのが旅館不足だそれやこれやで何とか工夫はつかぬものかと提案してる向も尠くない狀態である（安東縣）

◎北鎭金鑛發電所

平北北鎭東洋合同鑛業會社に於ては從來大舍發電所よりの電氣供給を受けつゝありしも本年十月より此供給を仰がず合同資本七十五萬圓を投じ寧邊郡內淸川江支流を利用し水力電氣を以て發電すべく既に設立準備中なりと（宣川）

◎安東縣の進水式

高見造船所にて建造したる滿洲商船第三寶丸は廿三日午前十時三十分進水式を擧行したるが同造船所主及び山下中野の兩滿洲商船重役は進水式參列者一同を公會堂に招待し祝宴を開催す（安東縣）

◎運春領事分館

運春領事分館の新築に於て西奈外務省囑託技師は浦潮通過運春に赴けるが該新築分館は本館及附屬建物にして總建坪三百坪に達し總工費約五萬圓なるが煉瓦造平屋なるが相當の威嚴を保たしむべく設計せるものなりと工事は近く着手し明年七八月頃竣功せしむべき豫定也（淸津）

◎三井の視察團

京城三井支店主催の新義州安東方面の視察團五十餘名は新義州營林署及び安東方面を水原出張所長の案內にて視察し歸京せり

慶北共進會

◇平安北道 よりは淸酒一點の出品申込あり
◇東洋物產 東洋物產合資會社よりはパナマ紙製原料二個及び手編み紙袋パナマ仕上品一個を參考品として出品の申込あり
◇京城織紐 京城織紐株式會社よりも參考品陳列及び即賣館設置方に付交涉し來れり
◇敷地交涉 共進會にては陳列場敷地として大邱東雲町所在遞信局所管官有草生地一千三十二坪三合七勺の無償貸付方を請願せり

◎殖銀株と晋州

慶南晋州にては未曾有の纏に締切應募株數實に一千六百六十四株に達せり

◎朝鮮人で全身に刺青の掏摸の頭

乾分を伴れて市場稼ぎ

淸州署の西田巡査が淸州市場巡回中淸州面市場九十六番地吉野市助商店前に於て市場の商人に紛れ鮮人農某の財布を掏り取りたる者あり被害者に發見されて大立廻りをなせる所へ巡査が來りしにぞ犯人は忽ち何れにか姿を晦ましたるより搜索の末三四時間を經て同市場の共同便所內に右犯人の居たるを突止め取調しに果して上衣の襟頭に五圓紙幣一枚一圓紙幣七枚を縫ひ込み宿袴の下にも一圓紙幣五枚十錢小額紙幣一圓餘を卷き込み都合十八圓餘を所持せるより引致取調たるに此奴は前科二犯の鮮人掏摸

◎お伽講演會 安東縣に於て

本社お伽講演講師淚光氏の講演會は廿日午後七時より安東公會堂、廿日午前八時より同學校に於て開催されました

◆公會堂 演題『愛と淚』の下に我が國に於ける家庭改良の緊切なるものありと且つ戰後經營に就き此の感想も切なるものありと說き德富蘆花氏著『思ひ出の記』中菊池愼太郎の母を引例し父の墓前に落淚せる愛兒愼太郎が聽衆をして熱い熱い淚をハラハラと流しながら愛と淚を尤も有効に有意義に注ぎたる一段を熟練に任せて講演し聽衆を傾聽せしめ八時半閉會せり

◆學校 にては小林校長代理の紹介で演壇に立ち可愛らしい坊ちやんや嬢ちやんが大人しく坐り可愛らしい眼をみはつて京城日報の叔父さんはドンナ事を言ふだらうと幼い胸を躍らして待つてる處へ先づ『源ちやん』のいたづらを話してお腹の皮をよらせ、次ぎには太郎さんの『うかれ鉦叩』に身振り手振り面白くやつてのけてヤンヤの聲に送られて降壇一と息ついて第三番目には時局問題に觸れて話をと運ばんとせしも場內稍話が高尚なる爲めに不可解の顏色あるを見て話を一轉し題を改め『孝子正雄さん』の話に坊ちやんや嬢ちやんの愛くるしい眼から惜しげもなく淚を誘はさせ鼻をすゝらせ多大の感動を與へて十時半又其の內にお眼にかかるからお顏を大切にとお別れの挨拶をして降壇引き取り直樣義州を經て義州へ向ふ

◆新義州 義州の講演を濟ませた淚光氏は廿一日午前九時歸安午後四時より新義州小學校の講堂で市民の爲めに同七時より安東鐵道俱樂部で、それから廿二日は午前九時から新義州小學校で講演し同日午後六時半安東發の列車で歸京する豫定である

◎野球戰 ＝安東より平壤へ＝

安東縣野球團の平壤遠征は既記の如く二十一日競技の豫定なりしも雙方の都合上更に三十日に延期せり こゝ野球熾盛んなる平壤の東亞東拓銀行團等の野球俱樂部に於ては來るべき安東遠征隊を迎擊せんと目下盛に練習を行ひ居れり（平壤）

◎山林中に籠れる賊團を擊攘す

北義州統在守より麾下せる指揮の間にある日淸役の當年支那安東縣來南北方二里餘の山林中に露國式五連發銃を携帶せる二十名の馬賊團籠もれるを目擊せし支那農民は直ちに急を九連城巡警局に報じたれば同局より更に馬市巡警及び巡防兵に通報せる結果巡警五名巡防兵九名の應援を受け此に九連城巡警六名を加へ二十名の討伐隊を編成し現場に急行し二時間に亘り交戰したるが時間は遂に彈藥盡き何れへか逃走せしが雙方共に死傷なく賊は五連銃一挺を遺棄せりと（安東）

（張 三 李 四）

◇乾した木箱と阿片◇ 京支線連絡ホーム貨物倉庫內にて荷受主不明の乾木箱中に阿片の特殊しあるを發見したるが出荷主は支那人トンアシャンとありたる由

◇酒色の爲め社金横領◇ 滿洲公主嶺電燈社員北島喜一(二三)筒井久(三二)は共に酒色の爲め社金を横領し同領事館にて懲役に處せられしも三年間刑の執行を猶豫さる

◇酒だけは廉い滿洲◇ 近ら物價騰貴でも滿洲の酒は廉いものなり酒麥三十五錢（麒麟三十八錢）櫻正宗一圓白鶴澤の鶴一圓五錢金露九十五錢とは長春の相場

◇鶏の爲めに轢死す◇ 忠北沃川郡無頂西亭里麥錫因（七二）こいふ鮮の老人は京釜線沃川驛若羽鐵道線路にて汽車の進行し來るが聞ねざりし爲めに轢死せり

漢江觀火大會延期

七月二十七日午後八時開催

水性 三泰ペイントの特色及効用

一、三泰ペイントは塗布後乾燥非常に早く（三十分位にて手に附着することなし）耐水の特質を備へ而も時日を經過するに從ひ益々其特質を發揮す故に普通室內は勿論浴室其他屋外露出面の塗布に耐ふ（但し斯る場合には空氣の流通を能くし少くとも五日間乾燥せしむるを要す）加之耐火性にも富む之れ他に比類なき所とす
一、三泰ペイントは土壁、セメント、漆喰、煉瓦、石材、木材、金屬等如何なるものにも使用することを得其塗布能率は一罐（五十封度入）少なくも四十五坪にして塗方宜しきを得れば四十五坪以上延ぶ之れ他に比類なき所とす
一、三泰ペイントは經過するに從ひ益々其凝結力を增し堅牢となる之れ他に比類なき所とす
一、三泰ペイントは如何なる色彩を出し褪色剝脫の虞れなく時日の經過及寒熱によりて決して變質又は變色せざるのみならず却て貯藏久しきに亘れば其品質を優良にし凝結力及塗布能率を增す之れ他に比類なき所とす

三泰ペイント使用法及使用上の注意

一、三泰ペイントは其儘之を使用すべし一切の他物を混入す可らず若し混入する時は化學的變化を起し其特質を失ふ故に混入の爲に生じたる品質の變化に付ては一切其責に任せず
一、三泰ペイントは使用の際先づ泡立たぬ樣徐々に攪拌するべし若し泡立つ場合には之を取除くべし
一、三泰ペイントは如何なる下地又は何種の塗料を塗りある下地にも敢て妨げなく其儘塗布すれば足れり決して剝落の恐れなき徹密を以て固着して益々下地を堅固ならしむ
一、三泰ペイントは三回塗り決して以て如何なる徹密を隱蔽す
一、三泰ペイントは腐蝕中は氷結すれば温度の場所に貯藏すべし尤も一旦氷結せるものは徐々に加熱し攪拌すれば舊に還り何等變化なし又使用殘の品は可成密封し置くを可とす
一、三泰ペイントは塗布に際し刷毛に少しく附けて成く動かし使用すべし之延び方宜しきを以て也
一、三泰ペイントの使用法は右の外は普通ペイントと同樣也色合は如何なる色にても御注文に應ず

朝鮮全國一手販賣 三泰ペイント ソーライト タンタルス 京城旭町一丁目 小森商店 電話七四四番・振替京城一三七二番

AQUEOUS SANTAI-PAINT 水性 三泰ペイント

製造元大連 株式會社三泰油房 內外國一手販賣 三井物產株式會社

大連燒酎

特約販賣店 仁川 河野本店 京城 同支店 木浦 阿波俵商店 同 山口號本店 同 山本酒店 群山 山口號支店 同 長谷川商店 釜山 桝永商店 同 山邑支店 鎭南浦 吉富商店

眼科專門 金井眼科醫院

京城若草町（總督府前通り中程）電一五五六 新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

開業廣告

時下各位益々御清穆奉賀候陳者今般合資の上滿洲殖產株式會社を解散し東亞產業株式合資會社を組織し其定款に依り各種事業の施行相成候に就ては今後共倍舊の御引立を賜り度此段奉願上候

大正七年七月

大連市三河町 電話一二八七番 東亞產業株式合資會社（資本金百萬圓） 無限責任社員 社長 村岡角輔

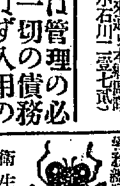
支店 奉天、撫順、鞍山站（準備中）

營業種目 一、農事經營及綿羊の飼育 一、土地建物賣買仲介並管理 一、各種商品賣買及委託販賣 一、金錢仲介及保證 一、燒酎製造、煉瓦及瓦製造（工場撫順）

中元御贈答品

賣元 藤製藥合資會社

蠅取散



警務總監部認可 衛生無害 定價壹圓金拾五錢 はいを殺すは之より早き法なし室の內外を問はず小量を撒布せばはいは直ちに死する事請合其外あらゆる害虫にも有効保證

煙草盆用 かとりせんこう 定價壹箱二十個入金貳十錢 火の代用として壹時間以上を保ち蚊トリ用として此れ以上の品なし

朝鮮一手販賣店 京城府黃金町三丁目一九一番地 山本商會 各地特約店御希望の向は御照會を乞ふ

朝鮮診療病院

內科 外科一般 小兒科 婦人病 皮梅科 花柳病 京城黃金町二丁目（長橋通角）（入院隨意）（電話二八三七番）

定例廣告

弊店は管理の必要上一切の債務を負はず入用の物品は總て現金にて買受可申候間當店名義にて罷出て候者あるも御貸し被下まじく自然御貸相成候共弊店に於て其責に任じ不申候

京城本町二丁目 熊平支店

土地家屋賣却

一、京城府長谷川町十十番地 瓦葺煉瓦造二階建本家（建坪六拾參坪參合參勺） 壹棟
一、京城水標橋町三十七番地 瓦葺煉瓦造平家建（面積百八坪六合五勺） 壹棟
平家（同） 貳棟
（面積壹百四拾八坪）
右ノ土地家屋附ノ儘賣却致シ度候ニ付御希望ノ方ハ左記へ御來談被下度候

京城長谷川町七十番地 同和東號 電話一五一〇番

小生今般三菱合資會社總務部ニ轉任近々東京ニ歸任可仕在鮮中ノ御厚誼ニ對シ御禮申上度旁々茲ニ御挨拶申上候 東京住所ハ從來通り本鄕區駒込町十六（電話小石川一一七二）ニ御座候

兼二浦製鐵所 木村林次郎

塚原卜傳

第百四十五席　悟道軒圓玉口演

塚原小太郎が一同に對つて首尾よく仇討本懐は遂げたれごも一つの難儀は此度三家の確執、伊達佐竹の兩家より當家へ對して再三の懸合、御當家にては大守を初め老臣の方々我等を憐み給ふ所より兩家へ對して斷然手切の挨拶いたし弓矢を以て爭はんこの評議一決したる由若しさうなつては我々一同何こ申譯の道もなし亦二つには命惜しさに最上家の力を借り兩家の手を免れたりこあつては世上の物笑ひこも相成るであらう、さりこて折角の厚意を無にして當家を立退かんも本意なきに似て面白からず、實に拙者も當惑いたしてござるが各々の御高慮は如何でござるか』こ小太郎が一同にいふこ柳生神後はじめ一同も一同『全く塚原氏の言はるゝ通り。何の縁由もなき當家に迷惑を掛け、命を惜しむ我々ならず、一旦義に依つて助力したる上は死生は共々、我々は飽まで小太郎殿を助け進退を共にいたす覺悟であるから之れは押て當地を立退く事に致さうではござらぬか、さすれば伊達家より何こ申來らうこもまた佐竹より何こ掛合ひが來ようこ當家に我々が居ない以上は格別面倒な事もない弓矢の沙汰に及ばず無事に濟む、太守の思召しは洵に忝ないが戰ひが始まつては大變だから寧ろ立退きませう』こいふこ其餘の面々も同意いたし ○『途中に於て伊達の人數追來るこも切破り蹴破つて上州へ引上げ、箕輪に歸れば此方の者若しまた途中に切死するこも何が苦しかるべきや、さう事が決まつたら片時も早く太守に暇乞ひをなし當國を立退く事に致さう』こ流石上泉の門人達、威勢然しき一言。小太郎もニッコリ笑つて居るこ、最前より默して居つたる礒端作藏 作『イヤ方々の仰せであるが拙者は少し考へが違ふ、成る程縁もなき當家が兩家を對手に戰端を開くこいふ其急場に臨んで身を退け、三家の確執を無事に解くこいふのも一理ある、一應尤もの考へではあるが之にはまた別の事情もある、今各々方が此地を離れ上州へ立退くこも三家の確執は解けぬこうあつても兵馬の沙汰に及ぶに相違ない、さすれば大守折角の好意も無になり、各々もまた無益な力を勞し次第に依つては命を落さねばなるまい、大功は細理を顧みず我人共に大切なる一命、無益に落すは愚の至りだ、拙者考ふるに三家の確執を無事に治めるには茲に一人の智者を用ゐてまづ當主佐竹右京太夫殿を説き、彈正の惡事を訴き其迷ひを晴らさせ小太郎殿の歸參を取計らはせるに限る、已に彈正死したる後は當主義宣公も少なれば他の老臣も拒む理由もなからう、佐竹から當家へ掛合ひこいふのも大方は伊達兵庫介一存の計らひに違ひない、佐竹の老臣小太郎殿の歸參を許しなば最早それで宜い、伊達大膳太夫殿當家こ弓矢を爭ふこいへごも未だ小身にして當家の半分もない領地、最上、佐竹和睦なさば前後に敵を設けるも同樣だに依つて之れは其儘沙汰止みこなるに相違なく、何こいつても萬全の策こいふのは今申した一人の辯者が佐竹へ行つて説くに限る、何こ各々名案ではないか』一同は礒端作藏が豫て佐竹家の内情を見拔いての一言に小太郎も手を拍つて感じたが一同も尤もこ同じました、併し其辯者乃ち誰こいふのは容易でないが第一小太郎歸參を説くには何か彈正惡事の證據こいふものがなければならぬ、之れは如何したものかこ柳生又左衛門が言つた時に末座から進み出でました秋山熊吉 熊『エゝそれには何よりの證據がございます、之れを御覽下さいまし』こ自分の懷中から取出しました一通の密書、作藏の手に渡す、開いて見るこ伊達兵庫から佐竹彈正に宛てたる謀反の打合せ狀でございます

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

人參エキス
京城本町壹丁目 電話 一四八〇番 一八七〇番
㋡ 津村兄弟商會

農信

慶南晋州の稻作

水稻の狀況は六月上旬より移植を開始し其の後頻繁に降雨あり水量豊富なりし爲め殆んご終了せり過般の降雨も何等の被害なき模樣なり晋州郡の水稻作田別一萬〇七百三十町八反步にして昨年より增減なく收穫は一反步玄米一石二斗平均の豫想なり(晋州)

平北の各種農況

義州附近に於ける農作物は昨今第三回の除草中なるが未だ害蟲の發生なく一般に發育良好にして粟稗大豆は過般來の豪雨に依り若干生育を阻害せられ殊に粟は作物中最も出來榮不良にして昨年に比し減收は免れざるべき狀態なるも稻、玉蜀黍、高粱等は豐作を豫想し一般農民は何れも愁眉を開き居れり(義州)

曆

七月廿五日 九星 舊六月十八日 癸酉 本命三碧東南大安

▲三碧● [illegible] ▲四緑● 婚姻目開居旅行入門吉 出漁求職金談婚禮よし女を迎ふ事吉 ▲五黄● 旅にさわる事有り新事手控 女子は心を愼むべし ▲六白● 瘦がまんの事有り新事手控 衛生に注意せらるべし ▲七赤● 損の事有り新事手控 買物に用心の事 ▲八白● 大力身の事有り新事手控 ▲九紫● [illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黒● 親切を盡して反て仇さならん、新事手控 [illegible]

演藝案內

壽館 京城本町 電話一〇五〇
當る七月廿三日の語り物 ▲各派聯合納凉淨瑠璃大會 ▲御祝儀 ▲傾城 [illegible] ▲忠臣藏 ▲本藏下屋敷 ▲盛衰記 ▲先代萩 ▲御殿の段 ▲御所櫻三段目 ▲木戸無料

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
每夜午後七時より開演 ▲京阪落語 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八
新派 さゝ浪會一行 當る七月廿四日 一小島千九堂氏作『長恨歌』七場 [illegible]

黃金館 電話 二六三七 二六六
天然色活動寫眞會社京城釜山一手代理店 當る七月廿日より臨時特別興行 [illegible]

有樂館 早川演藝部直營活動寫眞常設館 東京小林商會 [illegible] 電話 [illegible]
七月十九日より公開 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る十九日より寫眞提供 [illegible]

大阪 本家 ちふえ 伊藤長兵衛
昔も 今も ちふえ ひゐぞり
效能で賣れる
逆上を引下げ 通じをよくし 諸毒を下す
振替大阪九七三

時計 金銀 製作販賣
品質確實
仁川本町 岐阜商店
電話七〇番 振替京城

第一等の キナピリン
かぜ、ねつに スコブル よくきく
一服にてきゝめ現はる
價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓
大阪市堂島 本舖 高橋盛大堂藥局
●到る處の藥店に販賣す

賛化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科
入院隨意
無料施療 毎日五名を限り
醫學博士 古城憲治

◎朝鮮名物◎
金剛飴
京城本町電話一七四九番 龜屋

金牌受領

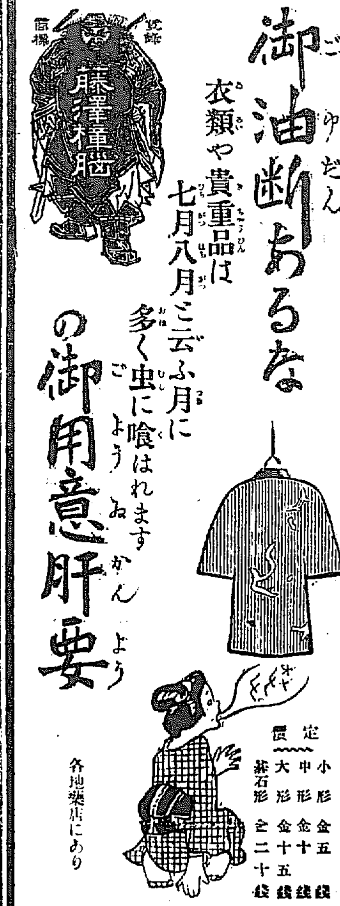
大正七年六月
於大阪化學工業博覽會

品質本位
花王石鹼

同
ホーム浮石鹼

豫て御愛用を蒙れる弊商會製造の右石鹼は今回大阪化學工業博覽會に於て共に一等賞金牌受領の榮を得候間此段滿天下の愛用者各位に謹告し猶々御愛顧の程奉希上候

東京日本橋區馬喰町二丁目
長瀨商會



御油斷あるな
衣類や貴重品は七月八月こ云ふ月に多く虫に喰はれます
の御用意肝要
定價 小形金五錢 中形金十錢 大形金十五錢 蕃石形金二十錢
各地藥店にあり

森永製菓株式會社
森永 ミルクキャラメル
無言の案內 アルプス實話
本品が泥に水！飢に糧！凍に血！となりて登山者唯一の携帶藥餌として既に定評ある以外山中落ちたる本品の空函を道しるべとして進めば安全だと專ら山岳通の評判であります

汽船 釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 七月 日 午後四時出帆
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 七月 日 午後四時出帆
◎須佐、濱田、境、多度津行 大興丸 七月 日 午後 時出帆
釜山港埋立新町 大池回漕部

大阪商船出帆
神戸、大阪行(仁川出帆) 安東丸 七月 日 後五時出
群山大阪行 [illegible]
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 須磨丸 八月一日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 七月廿六日 後九時出
上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 八月十二日 前四時出
基隆丸 七月廿四日 後六時出
歐洲行 南米洲行 北米洲行 [illegible]

尼崎汽船出帆
釜山、木浦、下關、大阪直行 第一太湖丸 月 日 後四時出
君が代丸 七月 日 後四時出
大有丸 七月 日 後四時出
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
元山經由 浦塩行 [illegible]
雄基行 [illegible]
平壤丸 七月廿七日 清津發
平安丸 七月廿四日 元山發
咸鏡丸 八月一日 元山發
京畿丸 [illegible]
越後丸 七月卅日 元山發
大阪行 [illegible]
金剛山 [illegible]
濟州島行 [illegible]
釜山浦項線 [illegible]
釜山麗水線 海州丸 巨濟丸 [illegible]
木浦麗水線 [illegible]
多島海行 慶興丸 八月一日 木浦發
木浦行 仁川發 全州丸 七月廿九日 仁川發
海州行 仁川發 鎭江丸 南陽丸 毎日一回 仁川海州發
鎭南浦行 晉州丸 八月三日 仁川發
青島行 山陽丸 七月廿五日 仁川發
本社 京城南大門通 電話 二一九五 二一三二
釜山支店 元山出張所 仁川出張所 木浦出張所
京城荷客取扱所 京城南大門驛前 松原運送店 電話長二一七〇番
其他各驛前運送店にて荷客取扱店あり

況 京管線(下り) [illegible] 京釜線(上り) [illegible] 京元線 [illegible] 湖南線(南行) [illegible] (北行) [illegible] 京仁線(下り) [illegible] (上り) [illegible]

京城日報

●輸出入貿易概況　本年上半期の輸出入を前年同期に比する時は入超……見るのみなりしも大正五年に……今回本邦商品陳列所を開……

朝鮮貿易趨勢（七）

矢鍋關稅課長講演

朝鮮貿易は外部より受くる原因は臨時的の本來に依り種々の影響を及ぼせしも、朝鮮貿易上……の原因に伴なう……

▲區分し得べし

……戰前戰後各三ヶ年間の平均額に依り其影響如何を觀察するに第一（輸移入の増加）に屬するものは米粟食塩等の食料品類、綿布絹織物類諸機械類皮革製品の原料、工業用原料品設備材料等二十四品にして其戰前に於ける輸移入平均額合計四百四十八萬餘圓なりしもの戰後に於て一千百九十萬餘圓即ち七百二十二萬餘圓の増加額を計上し而して各同年間の平均輸移入總額に對する割合は戰前の九分より戰後一割七分を示せり。第二類（輸移入の減少）に屬する者は米國產小麥粉、麥酒、石油を主とし支那產絹織物、染料、英國產綿布、歐米產金屬製品並に金屬製品、白耳義產窓硝子等五十八品にして其戰前に於ける輸移入平均額計一千七十一萬餘圓に對し戰後一千百二十五萬餘圓即ち五十四萬餘圓を増加せり是れ何れも數量に於て減少せるに拘らず一般物價騰貴の爲めに價額の膨大せるもの少からざりし結果に外ならず從つて各同年間に於ける輸移入總額に對する割合は戰前の二割二分より戰後に於て一割六分に低下せり。第三（輸移出の増加）に屬する者は米穀、魚類、鷄卵、絹織物、皮革及び皮革製品、煙草等三十六品にして其戰前に於ける輸移出平均額合計八百五十九萬餘圓に對し戰後四千六十三萬餘圓即ち三千二百四萬餘圓の増加を示し各同年間の平均輸移出總額に對する割合は戰前の三割より戰後に於て五割五分を占むるに至れり。

最近の上海

最近の上海市場は殆んど邦人の獨占とも云ひ得べき程にて在住邦人約二萬人と稱せられつゝあり歐洲戰亂勃發以來獨英其他外國物資輸入杜絕に依り日本製品輸入甚だ旺盛を極め居れるも長江漢口以北は南北爭鬪の爲め輸送不可能にて此の方面は引續き供給全く無き有樣なり上海に在住する外人は日本人を第一とし英米人之に次ぎ獨逸人の潛勢力も盛に甚だ盛んなるものあり獨逸人は金融機關も閉鎖し現在にては何事も爲すを得ざるも在住者相當にあり併し獨逸潛勢力も輕視し得ず頻りに日本に不利なる風說を支那間に流布し居れり現在の在住者は其數多からずと雖も戰後の經濟戰に於ては輕視し得ざる強敵たるを失はず米國人の來往者も近來激増し大資本を以て盛んに投資を計りつゝあり現在に於ける邦人資本家との競爭者は米國人なり戰亂勃發の悪影響を受けたるものは英國人にして物資輸入杜絕の爲め甚だ困難を感じ居れるも全力を擧て戰爭終熄迄市場の保持に努力し居れり英人所有船舶の如きも本國に引揚げたるものは古船にて新造船は尚ほ相當にあり幾多の苦痛と闘ひつゝ戰前有せし市場を失はざらん事に勉め居れり現在來往者の増加し居れるは米人の資本家及び露國人の動亂を逃れ來りたるものなり日本人も亦激増しつゝあるが浮浪の徒多く二萬人の在住者中民團費の負擔を爲しつゝあるは僅かに七百戸に過ぎず過ぎし四箇年間の好時期と努力に依て得たる邦人市場を戰後各國人と競爭場裡に立つに際し完全に保持せんが爲めには現在より健實なる歩調を辿ること要す（京城通信）

歐洲より歸りて（二）

河野醫官講演　於實業家修養講話會

露都に著いたのは革命騷ぎの一週間後であつたが其前ならば停車場に抑留されて外へは出られなかつたのである。又各旅館の前には革命黨の兵隊が銃劍をつけて一々宿泊人を取調べ、兇器を携へて居る者は嚴重に調べられる。私共は其の點に就て別に心配は無かつたが、我々一行の中に短刀を持つて居る人があつたので大分心配した。若し取調を受けた際に、我々は醫者であるから之は外科用のメスであると言ふたらどうかと相談して見たが、どうも之れは通りさうもない話だ。どうしたものかと心配したが幸ひ大使館の人が來て呉れて、此の一行は日本政府の命を受けてやつて來た者であるから、荷物の檢査は省いて貰ひたいと交渉して呉れたのでやつと無事に濟んだ。其の當時の露都の光景は實に慘憺たるもので市街の秩序も紊亂し、電車の如きは四日から運轉を休止し、罪人は脫獄して市街に潛伏し夜間は頗る物騷、どんな目に逢ふか分らない。そして一方には大學生なんかの示威運動が毎日の樣にあつて、革命黨は裁判所を燒き拂つたり、立派な建物はどしどし之を占領して赤旗を押立てると云ふ譯で慘憺たる光景を呈して居つた。我々はこんな物騷な處に長く居つても仕方が無いと思つたから匆々瑞典に入つたのであるが瑞典は中立國ではあるけれど、食糧問題が起つて既にパンの制限をして居る。そこで我々が瑞典の國境に辿り着いたところちやんとパンの切符を與へ夫れに相當する丈けの分量を與へるのであるが、其の分量は甚だ少いのである。瑞典や諾威では我々日本人は大に歡迎され、一般に日本人の事は能く知つて居る。日本は短年月に非常に進歩を遂げた國である。日本人は勇敢にして義俠に富む贔屓しき國民であると褒めて居るのである。北歐の彼の邊でどうして日本が左樣に能く了解されて居るかと申せば、御承知の通り昔から露西亞とは仲が悪く始終睨み合つて居る間柄であるが、日露戰爭で日本が露西亞に勝つたのでよい氣味だと云ふ感情から頻りに日本を褒めるのである。日本は實に偉い國だと信じ切つて居るが案外日本の事情は解らず之を買かぶつて居る點もある樣である。夫で彼の邊に居る日本人は非常に偉い者として取扱はれて却つて困る事があると聞く。其代り彼の邊では日本人が支那人と間違へられる樣な事は殆んど無いので日本人と支那人とは明かに之れを區別する事の出來る程日本人は知れて居る。之れは愉快に思はれる點である。瑞典に於ては、北海が危險であると云ふので、汽船には公用を帶て居る官吏の外乘船せしめず、北洋航行の汽船には英吉利の驅逐艦が保護の意味でついて行く。之は北海の航行は如何に危險であるかを證明するものと謂うて差支ない。併し妙なもので、自分は最初危險なら北歐丈けでも可いと考へて參つたのであるが、愈々行つて見ると、もつと先に行つて見たい氣が起つて來た。生命よりも大事なものは無い事は知つて居るけれども、行つて見たいと云ふ心理狀態になる妙なものだと思ふ。そこで渡航の手續をして諾威から船に乘つて北海を横切る事となつた。汽船は大分數が多いが、北海の浪の荒い事は想像以上である。但し汽船は驅逐艦の保護の下に一目散に航海を續けるのであるから、普通は三十六時間を要する所を二十二時間で走つて了ふ。私は斯くして倫敦を經て佛蘭西及び瑞西に渡つたのであるが、倫敦でも巴里でも夜間は市街が非常に暗く、殆ど人の顏が判らない。偶に通行人が電信柱にぶつかつて怪我をする。飛行機襲來に依つて蒙る損害の程度よりも暗闇で衝突して怪我する損害の程度が酷いのである。巴里も同樣で、市街は暗闇である。料理店抔は夜の九時になると、客を追出して店を閉めて了ふ。元來巴里はカツフエーの繁昌する所で、平時は十二時、一時二時頃までも店を開いて居るのだが、戰時になつては九時には閉鎖する。之は何れも獨逸飛行機の襲撃に備へるためである。瑞西では……之より瑞西が戰亂の結果頗る困難して居る狀況を申述て見ようと思ふ

書道の話（一）

今關天彭氏談

書道といふのは文字を書く技術及びこれに關する一切の學問を謂ふのであります。書は支那に於て昔から實用の外に美術として取扱はれ、士大夫の必ず善くせざるべからざるものとなつて居る。その發達したことは論ずるに及ぶところではありません。隨つてこれに關する典籍も大分あるが取分け康熙帝の勅選に係る佩文齋書畫譜といふ（百卷）書物が頗る著名なるものになつて居ります。この書物は書道に關して書體、書法、書學、書品或は歷代書家傳記といふが如くに區別を立て、一々其の材料を豐富に蒐めてある。其處で私も其の例に倣つて書道の大體を御話して見ようと思ひますが、歷代の書家の傳記は、書品の中にある短評と、包世臣の試みた短評とを抽き取つて、夫に依つて歷代の書家の極めて概略の傳記を知り、併せてこれ等の書家の書風をも窺ひ見ようと思ひます。

甲、書體

書體とは古文とか篆書とか隷書とか楷、行、草とか、或は又八分や飛白などの種々なる文字の形を云ふのであります。孫過庭の纂めた五十六種の書體や、夢英の論じた十八種の書體などを讀みますと、書體は如何にも多いと思ひますが、その中に在るものは大抵神仙家や好事家の假托に出たもので、一般に通用せられるものではありません。そこで私は普通に使用せられる書體に就いて、少しく說明を試みます。

一　篆書

篆書には大篆と小篆との二種あつて、大篆は周の宣王の時に史籀が作り、小篆は秦の宰相李斯が作つたのであります。大篆は秦の時には既に廢れて、これより以後は小篆が通用文字となるのでありますが、始皇帝の先祖に穆公といふ人が在つて、其の當時のものと稱せられる詛楚文といふのがあるが、字體が如何にも小篆に類した處から考へると、李斯が小篆を作る時餘程この詛楚文を參考としたので御座いませう。漢代となると、今度は隷書が通用文字となつて參つたが、小篆も全くなくなると云ふには至らなかつたので、この篆書が楷隷の源となるのであります。漢代の篆書の名人には、漢の始めに曹喜があり、漢の終りに蔡邕があり、以後に漸次衰へて行き、唐の時に李陽冰と云ふ有名な人が一寸現はれました。しかも大體に於ては依然として衰へ行き、たゞ僅に印章に用ふる位でありましたが、しかも間もなく滅亡して仕舞ひました。後に約八百年を隔てたる清朝に至つて鄧石如が出て復興しました。

二　隷書

隷書は篆書の時に於ける通用文字であつて、漢末の儒帝がこの書體を好んだ處から、隷書の名人が輩出して居ります。この文字も秦漢以來時代を閱るに隨つて色々に變化して、魏の始めになると全く一變した。さうして前の篆書を抽象して楷隷となつて、竟に楷書の源となるのであります。

並行線（三十八）

瀧閑村

朝鮮化學紙の假裝は五月に竣工し、機械も入れ、職工も募集して同月下旬には機械の運轉を始めた。運轉を始めて見ると、原料の需給關係や、製品の販路擴張等で山本社長は更に多忙になると共に、北海道を往復させるに就て、色々設けぬ種々の故障が起つて、高山は全く自分一人では如何ともし難いやうな戰闘にも遭遇つた。形容なく寢食を廢して研究しなければならない事も一再ではなかつた。斯うなると高山は愈々技師長として此の會社に無くてならぬ人となつてしまつた。社長は事業の上から考へて、強て靜子を望んでゐるのを幸ひに、高山に與へて會社に深い根を張らせようと心密に決してゐた。けれどもそんな事はまだ高山に話した事は無かつたが、高山は社長の口裏に其意の在るのを看取して深く靜み隱してゐた。其結果として妻に靜子の意中を聞かせたのだつた。

で社長は妻から高山は可厭だと云ふ靜子の答を聞いて先づ憤つた。

『誰が可厭だの何のと。靜の申出は我儘千萬ぢやないか、彼奴が親を棄て、家出しようとしたのすら不埒至極で、本來なら相當の處分をしなければならないのを、お前が切りに宥めるんだから許して置いたのだ、そうすると付上つて勝手な事ばかり言ふ。一體お前の取締が十分でないから、そんな我儘を言ふのだ』

『さう仰有られると私がいかにも仕樣がないやうですが、さう一概に仰有つても、本人にして見ると……で旨く行かなければ、お互に氣まずい思ひをして、結果は却つて惡い事ですから、我儘といふ譯でもなくとも、自分の一生の事ですから……くなるのですから……』

さう云はれると、それも尤もなので、社長の顏に不滿の色が現はれた。

『さう云へばさうだが、會社の方から云ふと、高山は一躍技術家の中へ入る人間で、高山が一生懸命に仕事をすれば、會社の成績に非常な影響を及ぼすのだから、どうかして高山を籠中に入れて置きたい。それには靜を嫁つて置きたいと思ふのだ。高山には多少の缺點もあらうが、そりや人間だからそんな完全な人のは無いサ、高山なら嫁つた所で買つたも同樣だから、どんなにも内部に立入れるし、靜だつて氣樂でいゝぢやないか……』

と云ひかけて、

『いやお前と談論した處で始まらんが……會社から云ふと、此際どうか靜にも我慢して貰はんと困る。そこをお前からよく話して貰ひたい。』としみじみとした調子で云ふ。

『それぢや靜をこゝへ呼んで、モう一度よく話して見ませう、けれども餘り貴郎は無理に何しないやうにして下さらないと困りますが』

『それは承知してゐる』

やがて靜子は兩親の前に呼ばれた。そして父母の云ふ所を聞いた。手を交いた儘ぢッと化石したやうにそこに俯向いてゐたが、暫くして色を失つた顏を擧げた。

『よろしう御座います、高山の所へ參ります。』と決然答へた。眼にはモウ涙も見えなかつた。

本紙定價　一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金參圓七拾錢　一ヶ年金七圓參拾錢
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五拾錢　特別……
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介

婦人界

日の照るもと（島成園女史畫）
世帶持上手
留守を預かる主婦
夏と婦人の身だしなみ
古浴衣利用絞染
私の貯金法と利用法
家庭の家事
病夫を抱へて二人の子を育てた……
最新實話　呪ひの手（大正の不如歸）
長篇小說　野菊の波
八月號　定價……
發行所　東京……婦人界社

看護婦募集廣告
志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし
大連　滿鐵大連醫院
奉天　南滿醫學堂附屬醫院

市河三喜氏譯註　マクベス
東京帝國大學文科大學助教授　市河三喜先生著　定價金一圓卅錢　送料八錢

趣味の英語研究　英語の謎
東京外國語學校教授　村井知至先生序　八代中學校教諭　江副秀喜先生著

少年少女　安倍季雄先生編
少女傑作文集　わかみどり
少年傑作文集　試金石
發行所　東京……研究社
少年少女の最良の綴方參考書は是れ

改良モルタル製
屋根瓦と壁張瓦製造販賣
改良モルタル瓦製造販賣
一本瓦は建築界の進歩に伴ひ幾多研究の結果考案せし者にて家屋の外觀頗る美也
一本瓦は硬化劑を配合して製造せしものなるを以て頗る堅牢なり
一本瓦は耐寒、耐暑、防火、防水力完全なるを以て永久的使用に耐へ眞に理想的也
一本瓦は著色御注文に應じ殊に輕量にして汲水少く木材を節約し得る爲に低廉也
一本瓦は年數を經るに從ひ硬化し使用後十年以内に雨漏りせし時は無料にて直す
一本瓦は壹坪四拾枚算にして附屬道具もの完備せり
……家屋建築設計に應す……
工場　新龍山漢江通り（電話一四四）
特約店　櫻井商店
京城古市町（電話九四一・三一〇八番）　吉米地商店　振替京城五三一番

特價提供
東京書籍商組合員　圖書總目錄
大正七年五月刊行〔第五版〕
正價金六圓五拾錢　小包送料十二錢　特價（壹千部限り）五圓五拾錢
圖書總目錄第五版新たに成る。其收容せる書目は新版舊版を總括して實に參萬四千の多きに及び、之を書名の五十音別・發行所別・類別・著作者別の四大部門に分ち、其の何れより索むるも、書名を知り、著者を知り、發行所を知り、定價送料を知ること、恰も物を嚢中に探るが如けむ。讀書家に對して絕好の手引たると同時に、一般書籍業者の重寶たるべく、著述家・出版者・教育者・政治家・實業家・宗教家も又本書を利用の途多からむ。殊に圖書館・諸役署等の必備書たるは敢て辯を俟たざるべし。大方博雅の士に薦む。
發賣元　博文館　東京市本町……

江戸の花出初式
創業明治卅貳年
新たな開業の御方又自轉車御營業の方ハ（意匠登錄）
東京製自轉車に依て絕大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車部　杉野商店
東京神田東廣町
電話下谷八五一番
振替東京四七七番
郵便私書函神田局四拾番
"C.A." "DAIMILLION" TOKYO

◇獨墺俘虜軍滿洲里殺到

哈爾賓ダウリヤ戰線の戰況は十七日來大變化を來せり即ちチエック軍に敗られたる獨墺俘虜軍はチタに於て約一萬二千人に達しセミヨノフ軍に向ひ殺到せるよりセ軍はマツエフスカヤを放棄して國境に向ひ退却せり俘虜軍は十八日滿洲里より僅かに五支里の地點に迫りたれば從て同地住民の狼狽一方ならず避難民引揚の爲め應急列車を要求する等大混雜を極めたり（哈爾賓電報）

◇チ軍鐵道占領

最近情報に依ればチタ、イルクツク間及び遠くトムスク迄の鐵道は目下チエック軍の手中にありと（哈爾賓電報）

◇チエック軍 過激派 死傷比較

現在迄の戰闘に於けるチエック軍の死傷は總計千百人なるが過激派の死傷は五千人以上なる可し（哈爾賓電報）

◇募兵中止と委員

二十二日奉天募兵司令官より在安東募兵委員に對し北京中央政府より南北の紛擾近く解決の見込あるに付き募兵事務を中止す可き旨通牒ありたりと打電し來りたるを以て同委員は二十三日午前十時四十五分百廿七名の募兵と共に奉天に向け出發せり（安東特電）

◇マルヌ獨軍退却中

佛軍はシヤトチエリーを奪還しマルヌ河北方の獨軍は退却を繼續中なり（ロイテル電報）

◇獨逸飛行船擊破

英軍飛行家は獨逸トンデルンのツエッペリン格納庫を襲ひ飛行船二隻を擊破せり（ロイテル電報）

◇佛軍意氣衝天

獨軍はヴイレルコ、テレシンソンより驅逐せられ今や佛軍は意氣衝天の勢ひにて進擊繼續中なり（倫敦電報）

◇藏相首相訪問

勝田藏相は廿三日午前首相を訪問し來年度の豫算を協議せり（東京特電）

◇米國保留指定品追加

米國戰時通商局は寫眞種板及び活動寫眞のフイルムを保留指定品中に加へたり（東京特電）

◇平田子動靜

二十三日午後平田東助子は首相を官邸に訪ひ長時間會談せり（東京特電）

◇釜山白米値上

釜山白米小賣組合にては廿四日より白米一升三十四錢に値上方決定せり（釜山特電）

◎日本の海運業

▼太平洋上の發展 太平洋の船腹は、全部之を撤退して大西洋の使用に供し、亞米利加に關する限に於ける、太平洋運送業を前途遼遠に日本人の手に委ぬるに至りたるが故に、日本海運業の前途は益々有望となれり。日本は太平洋の運送業を獨占すべき絕好の位置に在り、日本人が南洋と總稱する群島地帶、即ち海峽殖民地蘭領東印度諸島、非律賓等の運送業に於て特に然りとす。日本の海運業が最近如何なる程度に發展せしかは、信ずべき筋の情報に依りて想像するに難からず。日本郵船會社は去る五月より甲谷陀、新嘉坡間の直航路を開始し、途中古倫母及び南阿諸港に寄港せんとす、然れども

▼日本の一港を 發航地とすべき種々の理由（其一は船舶檢查の便利に在り）を存し、又日本郵船會社と英印汽船會社（ブリチシユ、インデイア、スチーム、ナヴイゲーション、コンパニー）との間に久しく結んで解けざりし問題は、既に圓滿に解決を告げたるを以て、其の結果甲谷陀、爪哇線は之を日本郵船會社に引渡しを了し同會社は直ちに神戶、爪哇、甲谷陀線を開始したるものなり、故に日本船舶檢查に便ならしめんが爲めに、神戶を新航路甲谷陀、新嘉坡線の起點となすべし。大阪商船會社は、新嘉坡と蘭領東印度及び馬來半島の諸港との間に、新航路を開始せんとて久しく熟考中なりしが、過日政府の

▼許可を得たる を以て遠からず左の計畫を實現すべしと

一、新嘉坡と盤谷、ホンチアナ、ツリ及びバタビヤに至る航路

二、甲谷陀より蘭貢經由バタビヤに至る航路、必要の場合にはサマラン、スラバヤに延航

三、新嘉坡よりボード、スエツテンハム及び卑南經由デリーパレムバンに至る航路

目下此諸航路には夫々汽船二千噸型二隻、三千噸型三隻、八百噸型一隻又は二隻を配して每月二回の航海を持續せんとす。山下汽船會社は一躍大規模の海運業に發展したるものにして、新嘉坡と香港間の航路を有す

▼航路に八隻 の汽船を配し、其噸數合計三萬一千五百噸に達せり。太平洋海運會社は戰爭の爲めに勃興したる唯一の會社にして日本、北米及び印度の間に三角航路を設置したるものなり。日本と合衆國の間に船鐵交換に關する曠日彌久の談判は將に解決を告げんとす、即ち日本は船齡十年乃至三十年の船腹十五萬噸を提供し九月迄に其全部を引渡すべく、其傭船期間滿了に至れる場合、歸航の際鋼十萬噸を受け取るべきことを約せるものなり日本船舶に生じ得べき發展を阻止するものは、獨り日本の造船能力あるのみ、今や日本の造船會社は絕好なり、政府と船主と造船所と製鋼會社は相携へて

▼此機會を獲得 するに全力を傾注せり國內造船能力は一箇年七十萬噸に達し、千九百十四年以降戰爭の刺擊を受けて、近代式大型汽船を建造するの能力ある六大造船所と小型造船所の十二箇所乃至十五箇所より一躍して大小型の造船所を合せて百二十箇所の多きを有するに至れり、今や何れの造船所に於ても鋼製汽船を建造せんものと奮闘せざるはなし、米國の鋼鐵輸出禁止令一下したるが爲め工業發展に最大必要の一材料の缺乏を補充するの必要に迫られ日本製造業者の決心を結晶せしめたるの觀あり、此禁止令を外にしては、斯くも結束を固うする能はざるべきなり

▼千九百十七年 には日本製鋼能力は其前年よりは三割五分を增加し、其產出額は前年の五十噸に對して六十七萬五千噸に及べり、各大製鋼所に於て銑鐵の產額增加、熔鑛爐の增設、製鋼の科學的方面に於て、又は實地工業調查に於て、趣味と活動の普及等皆此國をして外部の供給より獨立せしめんとする國家的必要と決心とを痛切に認識せるを證するものと謂はざる可らず（倫敦タイムス貿易附錄論評）

◎物價騰貴原因 並に調節策

大藏省は歐洲戰亂に伴なふ物價騰貴の原因及び之が調節方策につき種々調查を遂たる結果を小冊子となし今回之を發表せるが其の內容は極めて複雜なるも物價騰貴の原因を次の如く區別せり

▲甲、貨物の方面に存する原因

（一）產業振興並に消費力の增加（二）分配過程の破壞特に運賃の騰貴（三）物資供給の減少（四）投機（買占又は賣惜み）

▲乙、通貨の方面に存する原因

（一）通貨の膨脹

而して貨物の方面に於ける調節策としては戰時船舶管理令の制定、鐵道運賃政策輸送力充實と鐵道の建設改良、生產の獎勵、金融の改善及び自給自足の手段として窯業瓦斯研究所の設置、製鐵所の擴張、緬羊飼育、耕地整理を初め輸出品の制限等を斷行し又通貨の方面に就ては戰前即ち大正三年七月末に五億三千五百萬圓なりしものが大正七年三月末には十億一千七百萬圓に上り四億八千二百萬圓の流通高を增加したるが之が原因を列記すれば

（一）內地生產業の勃興並に消費力の增進に伴なひて一般取引の頻繁を來し通貨の需要を增加したること（二）物價騰貴の事實によりて通貨の需要を增加したること（三）各人所得の增加に伴なふ懷中金の增加したること（四）海外發展に伴なひ爲替資金融通の必要を增加したること（五）正貨の增加に伴なひ兌換券の膨脹を來したること（六）貯蓄制度の不完全なること

等にして之が收縮策としては郵便貯金制度の改善、小額勸業債券の發行強制貯蓄法の制定其他の方策を講ずるにあるなり（東京）

◎各國兵出動（北京）

各國の浦鹽派兵一決するや香港英國政廳は先本國政府の訓令を奉じ同地の守備兵五百と新嘉坡より來る可同數の兵を以て不日出發浦鹽へ向ふこととなれるが同時に北京佛國公使館も同樣派兵の訓電に接し京津守備隊一大隊（安南兵を含む）を出動せしむべく準備中なり米國は北京守備隊の一部及び比律賓駐屯兵を出動せしむべし尙ほ伊太利も亦派兵の說あり同國の北京守備兵としては過般該國のため捕虜となれるもの多數當地に來れるあり其一部は已に本國に歸還せるも殘餘の兵は尙少からず之を以て浦鹽へ向けらるべしとの噂あり

◎內地爲替貯金 客月中の概況

客月中に於ける內地爲替貯金局事務概況を聞くに郵便貯金に在りては月末現在人員一千八百二十萬百五十九人、此の金額四億七千三百三十七萬二千五十四圓、證券に在りては月末現在人員に於て六十萬一千六百五十三人、枚數に於て三百四十一萬四千四百八十二枚、額面金額に於て六千三百六十萬千三十五圓郵便振替貯金に在りては人員に於て十萬七千六百七十圓金額に於て二千二百六十一萬千二十二圓にして郵便貯金は前月に比し現在人員に於て二十三萬三百九十二人を又現在預金額に於て千八百九十三萬千二百七十九圓の增加を示せり但し該預金額中には大正六年度末貯金利子元加高の內五百八十七萬七千八百六十圓計上しあるを以つて純預金としては千三百五萬三千四百十九圓の增加を示せり又證券は前月に比し現在枚數に於て一萬八千九百九十九枚額面金額に於て三十三萬八百五十五圓を增加せり而して振替貯金は前月に比し現在加入者に於て千三百六十四人預金現在高に於て二百三十萬八千六百七十圓を又受け拂金額に於て千七十四萬六百三十二圓の增加を示せり尙ほ本月は年金の渡期なるを以て年金、恩給、給與金拂渡高著るしく增加せりと

大阪より

▲倉庫在荷減少 大阪商業會議所調查に係る市內五倉庫の六月末現在高は二億千三百四十萬千圓にして前月に比し四百四十一萬五千圓の減少を示し昨年同期に比すれば七千九百六十四萬圓の增加を示し滯貨の比較に依り昨年の活躍本年の不振を反映せり其增加の重なるは鐵材の二百四十九萬圓海產物の九十六萬圓油及び蠟燭の九十二萬圓毛織物の百萬圓金物品の五十二萬圓雜綿の六十三萬圓朝鮮米外國米の各十八萬圓等にて減少品の重なるは綿絲の三百六十萬圓印度棉の二百十八萬圓を主として雜金網の四十六萬圓內國米の廿九萬圓羊毛の卅二萬圓藥染料及び實棉の廿二萬圓等にて米棉は百十一萬圓支那棉は百一萬圓の減少を示し印棉實棉と併せ四百六十萬圓の減額となれり紡績側の消費率に對し輸入率の減少を反證せり

▲支那燐寸發展 支那の燐寸製造會社は全國五十四社にて其分布は滿洲八社北支那七社中支那廿七社南支十一社の配置にして其中日本人の經營に係るものは滿洲に三社日支合辦の會社長春重慶に二社在る外其他の四十九社は皆支那人の直接經營に屬するものなるが燐寸の種類は各產地に依り特色あり滿洲は黃燐を主とし中支は黃燐安全を兼營し南支は安全を尊ぶこし支那の民度は中支より南方に向ふに隨つて向上を示せり而して燐寸製造は小資本を以て簡易に製造せられ需要の範圍廣きを以て支那の生產力は意外に發展し品質良好のもの少からず黃燐燐寸は漸次に自給の域に達せんとする狀あり本邦燐寸輸出業者は品質の優良を以て支那品と對抗の要あらんと

▲加奈陀鑛產高 最近加奈陀政府發表に係る昨年の鑛產高は金は七十百萬オンス銀は二千三百五十萬オンスにて銅は一億千百萬封度鉛は五千六百萬封度鐵は百十八萬六千噸亞鉛鑛は百七十三萬五千噸に上り戰前に比し約三四割の增加なり尙加奈陀は各種の鑛山に富み前途鑛產物は益々增加の趨勢なりと（大阪支局）

◇上原總長辭表提出

上原參謀總長の辭表提出說に就き政府は否認するも病氣の理由にて辭表提出せるは確實にして目下大道大將をして留任勸告中なりと（東京特電）

◎遣露米實業團計畫 露國救濟の爲め大會社設立

米國大統領は露國に實業團派遣計畫を承認せり、團長としてミラード任命され紐育の大銀行家ヴアンダーリップ氏も同行す可く更に勞働總同盟會長ゴンパース氏亦一行に加入すと傳へらる是等は飽迄露國救濟の目的に依り資本金一億弗餘の大會社設立さる可しと（露領通報）

▲支那燐寸發展 支那の……（前掲）

◎金久保少將申告 前步兵第四十旅團長金久保少將は總督府に出頭し二十三日午前軍司令官を往訪せり

◎螺鈿漆器會社 設出 慶尚南道の螺鈿漆器は古來有名なりしが近來萎靡振はず依つて今回佐々木慶南道長官の盡力により株式會社を起し資本金五萬圓にて統營に本社を置く事となり茂木技師、富田氏代理山口精出資し統營の有志に於て半額を引受くる事となり富田氏の外統營有志の間に創立の議を協議し既に敗何指定を了し林料用として智異山の選定を了し下の件も略決定したるもの、如く富田氏の外統營有志の外八名の連署にて會社創立許可願を總督府に出願せりと

◎期米又復暴騰（東京） 買附鮮米十二萬石賣出さん

東京期米は廿三日又復騰し當限は遂に三十圓の大關門を破れり農商務當局の調查に據れば東京市內の白米現在高減少し居れるを以て當局は頻りに買附たる鮮米十二萬石を主として東京、大阪に賣出さしむる筈なりと尙是れが調節に焦慮し取敢す過般買附たる鮮米買入は十二萬石以外には絕對に爲し居らず又五圓の補給說も虛報なり唯だ買附價格と賣出價格との差ある場合指定商人の損失は是を補助し利益ある時は政府の收入と爲すものなりと農商務當局は言明せり（東京特電）

◎外米移出減か

鮮米買入中止の結果米の移出數も減ずる可きか又乃初の豫定數を移出す可きかは疑問なるも結局減ぜらるゝに至るべし（大阪特電）

◎女教員講習會 京畿道にては夏季休暇を利用し京城府內の普通學校內鮮女教員の爲め京城工業專門學校に於て染織洗濯洗張等に關し二十二日より八月一日に至る十日間講習會を開催せり

◎水島副檢查官輕快 過般會計檢查の爲め來京中なりし會計檢查院水島副檢查官は同事務終了歸東の途に就かむとする前夜盲腸炎に罹り直ちに總督府病院に入院加療の處引續き加療中にて一時は容態危篤に瀕したるも其の後漸次快方に向ひつゝありと

◎公州·圍碁大會 二十一日（日曜）をトし本社公州支局主催の下に公州官民の懇親を兼て圍碁大會を催したるが中々盛況なりし（公州）

人事消息

▲今村京畿道勸業主任 事務視察の爲め利川、驪州、楊平、加平等內へ廿二日出張

▲木村本次郎氏（工學士）廿三日夜入京

▲橋本雅正氏（滿洲鐵道支配人）廿三日夜退京

▲大塚日銀理事 二十四日朝退京南行

■聞目種■

▲大戰の生んだ珍譚奇話は却々少くはない▲喜劇悲劇と全く活動寫眞にでもありそうなのもある之れも其の一つ▲場面は倫敦イースト、エンド病院の一室▲若い娘が負傷入院中の一友人を見舞に來た▲處が一方の隅から一人の患者が此の若い娘を見て頻りに頭を振つて居る▲可笑な男だと娘は敢へて氣にも留めなかつたが看護婦がやつて來て彼の患者が貴女に逢ひ度いと云つて居ると告げた▲妙な人だと思つて娘が行つて見ると三年以前に行方不明となつて生死の程も知れなかつた兄であつた▲此の兄は其後從軍して負傷し兩手兩足を切斷しておまけに啞となつて居た▲兄妹は此處の奇遇に嬉し泣きに泣いたと云ふ事▲之れは佛國の事であるが佛國政府は出征兵士の家族を救濟する目的で法令を發し出征者の家族は借家料を支拂ふ義務を免除した▲巴里で借家を持つて務辨に生活して居た一人忽ち家賃が貰へぬ事になり大弱り▲借主の妻は夫の出征の留守中下宿屋を開業し安樂に暮して居る▲其處で家主は其妻君から五割の高利を借り辛うじて其の日を送つて居ると云ふは思ひ切つた戰爭悲劇▲之は戰爭とは餘り關係はないが米國シヤトル地方裁判所にはリース、ホワイトヘッドと云ふ女裁判官が御座らつしやる▲民事刑事共に司つて居るが主として『獄窓亭主取締法』の違反者の處分を裁斷して居る▲此の女裁判官殿は曾て法廷に於て『亭主に臺所を受け持たせて主婦に勞働をさせた方が一家の收入を增す場合が多い』と叫んだ有名な女である▲米國は女の天國男の地獄（？）

◎戰爭と海軍

十九日商船俱樂部にて……（[illegible]）

▲外國人の見學 參觀を……[illegible]……非常に……多くは人場を謝絶し居……張鞫せるも今回の大戰爭の如くなに對しては其攻擊力殆ど比較にな……の進退行動の上だけに對しても非……更に艦形の大型……そ非常なる勢力を示し居るも軍艦……なる戰闘をなし得る利益あり……が而も命中確……[illegible]……其強大の海軍は英國の此…… [illegible]

◎大□郵便不通

……[illegible]……二日午後二時廿五分大邱發……通帳切手等總額九百圓を竊取し去……[illegible]

善惡美人揃ひ 娛樂世界八月号

△元祿烈女 敷右衛門の妻……講談 菊草舍
□湯屋の娘のお長……長谷川伸
△如妃お百の島破り……小說 大倉桃郎
□お芳恨みの短銃……中村秋湖
△奇々怪々 駒姬の妖術……猫遊軒伯知
□由井正雪の最期……桃川如燕
△新講談 鰐鮫お倉……大谷內越山
□峠茶屋のお萬……山本鼎葉
△俠客 稻家おろく……神田伯治
□秋子夫人とお絲……平山蘆江
△操の 美人の生埋……小泉遊朝
△享保白浪 蝶お新……部道軒
□相馬大作の智謀……錦城齋典山
△光の底（長篇小說）……前田曙山
□其頃の色娘……近藤京魚
△誰が罪（懸賞小說）……眞一作
□清可女史とお銀……伊藤みはる
△鳥森延吉（殺し）……江戶川春
□怪美人洋妾お照……西村時雨
△俠勝 向疵のお鈴……田中男
□新作小猿七之助……橋本
△湯屋番（落語）……小柳家三治

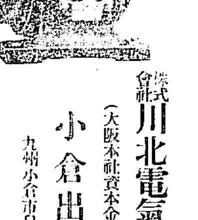
改正定價 廿二錢 送料二錢 振替東京三三八四四番 東京日本橋スキヤ町 娛樂世界社

顧問 大隈侯 五博士

種苗定價表 無代進呈

社長 三枝守富 相談役 牟田口元學

東京內藤新宿 東洋園藝株式會社 振替東京二四三五七番



川北製モートル（各馬力在庫）

各電氣會社に納入し常に絕大の好成績と數量の夥多なること寔に冠たり

株式會社 川北電氣企業社（大阪本社資本金參百萬圓）

小倉出張所 九州小倉市島町電話六八

朝鮮で始めて出來たお伽本

少年少女の讀物出來

少年小女の智能が餘程進んで居る今日では爺婆的のお伽噺では滿足が出來なくなつて新しい智識を得るお伽噺を渴望して居る事は事實です

今回發行のお伽噺は文意が平易で總て新智識によつて作られて有りますから尋常一年生でも十分に讀めます而して眞に勉學の助けとなりますす殊に暑中休暇の讀物として好適なものでありますす是非御一讀を乞ふ

八島柳堂著 古賀新雄畫 教訓お伽噺（八月上旬發行）

美本 一百五十頁 定價三十五錢 郵稅二錢

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

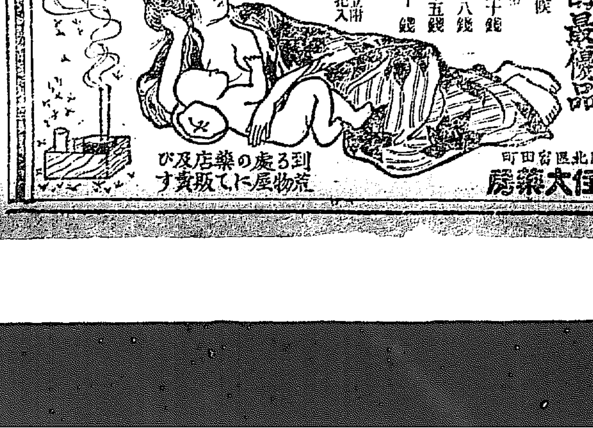
資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店

京城本町壹丁目 電話 本局五八番 一九四番 振替貯金 京城一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面重要の地に有之候

安住かとりせんか（登錄商標 猪印）



信用生產額共に第一 代表的最優品

製品種類左の通りに候

內地向 定價
美裝紙函 渦卷形大 十二卷入 金二十錢
仝 中 十六時間持 十二卷入 金廿八錢
仝 小 三十時間持 十二卷入 金十五錢
仝 二十時間持 十二卷入 金十錢

輸出品
美裝紙函 新案特許線香立附 十二把入及十把入
渦卷形 大中小三種

輸出品は英、米、獨、支、南洋、西班牙印度向の數種あり御註文の節御指定を請ふ

到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

大阪北區官田町 安住大藥房

第二十四回決算報告（自大正六年六月一日 至大正七年五月卅一日）

一資本金 五百萬圓

一諸積立金 四百九萬圓

貸借對照表

資產

科目	金額
未拂込株金	三、七五〇、〇〇〇、〇〇
銀行預金及現金	一、七一五、九〇六、九八
郵便振替貯金	五二一、七九六、九四
貸付金	一一九、六〇〇、〇〇
有價證券	二、三〇八、二四二、四四
不動產及什器	七三、七〇三、二〇
建物內拂金	一二、〇〇〇、〇〇
未收保險料	四九六、九〇八、〇〇
未收再保險金	二九九、〇四六、九四
未收再保險償金	四二、二九七、六二
代理店貸	七〇、八六二、八七
供託金	三三九、七三三、二九
假拂金	一六四、六八一、四〇
合計	一〇、一一四、七七九、二八

負債

科目	金額
株金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
法定準備金	五三〇、〇〇〇、〇〇
有價證券減價準備金	七七、五一七、八四
責任準備金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
支拂備金	一八〇、〇〇〇、〇〇
未拂再保險料	六四七、〇三〇、三八
使用人恩給基金	二七、一二二、三四
未拂配當金	五、四〇三、三一
身元保證金	一、六〇〇、〇〇
他店借	一一、〇一八、七二
假受金	五九、八三六、八八
利益金	五七五、二四九、八一
合計	一〇、一一四、七七九、二八

利益金五拾七萬五千貳百四十九圓八十一錢也

此金分配左ノ如シ

一金五萬圓也 法定準備金
一金十二萬五千圓也 株主配當金（年一割）
一金十二萬五千圓也 株主特別配當金（年一割）
一金四萬二千圓也 役員賞與金
一金四萬圓也 使用人恩給基金
一金十九萬三千二百四十九圓八十一錢也 次年度へ繰越金

右之通候也

大正七年七月

橫濱市本町五丁目七十番地 橫濱火災海上運送信用保險株式會社

取締役社長 小野光景　專務取締役 井坂孝　取締役 大[illegible]三郎　取締役 若尾幾造　取締役 原富太郎　取締役 茂木惣兵衛　取締役 [illegible]右衛門　監查役 [illegible]　監查役 渡邊文七

役員任期滿了ノ處何レモ再選就任セリ

朝鮮京城府本町一丁目二十八番地 株式會社 橫濱火災海上運送信用保險 京城出張所

營業科目

有價證券（現物部 金融部 調查部）

▽一攫千金は十九世紀の夢なり時代の成金は秩序的ならざるべからず

▽現物の賣買 貨殖致富の最良機關にして之れを運用する者は斯界の勝利者なり

□現物の依賴は廣瀨現物部に信賴し資金の調達は廣瀨金融部を利用し材料の搜擇は廣瀨調查部に計れ

●東京廣瀨日報發送案內及株式旬報御申越次第送呈

東京市日本橋區兜町四拾番地 廣瀨株式商店 店主 廣瀨大橘

電話 浪花（特長）四一七番 二八〇九番 八九三番 四二七〇番 長四一〇一番 市場專用電話浪花一〇九番 振替東京三五五三〇番

電信略語（ヒ）登錄受信略語（トウケイヒロ）

大戰及び理科大學にも入學せり現　扶桑の設計當時にも居合せて其後近に於ては英の各海軍關係工廠は　渉歐せる關係上超弩級以上の新式　しき點は今次大戰爭の一大特色たるのならず尤も海戰の場合に多數潜可く而も潜航艇が商船に對してこ航艇一齊に活動をなす時には艦隊ざるものとなる可し益に於て將來の海軍は更に出づる模様なく彼がくものあるも事實は決して然らず

◎宗燈會社へ賊　十九日午前二時頃全南光州道燈會

◇御進級決定の四殿下◇——（上）竹田宮（下）朝香宮（右）東久邇宮（左）北白川宮

◎近く御進級の四宮殿下の御事ども

竹田宮は御現職のまゝ

東久邇宮朝香兩宮は地方聯隊へ御轉補

二十五日には陸軍の四宮殿下御進任あり其の內に妃殿下內親王殿下級が發表される筈である、即ち陸初め岩宮殿下にも同地へ成らせ軍騎兵中佐竹田宮恒久王殿下は騎るべしとの事である（東京）兵大佐に、砲兵大尉北白川宮成久王殿下は砲兵少佐に、步兵大尉朝香宮鳩彥王、同東久邇宮稔彥王兩殿下は步兵少佐に孰も同時に御進遊ばさるゝ事になつた、內竹田宮殿下は漸次

◇御病氣も　快方に向はせられたけれども當分轉補等の事は無く北白川宮殿下にも其の儘參謀本部に勤務せらるゝ筈に定つた併し朝香、東久邇兩宮殿下は現在の參謀本部附から孰も地方聯隊附こして御轉補遊ばさるゝ筈で夫々宮邸では內々御轉補先の御邸等に就て準備中である、朝香宮殿下には寒い處でも決して

◇厭ふ事は　無いと仰られたさかで弘前ではあるまいかと云ふ樣な噂もあつたが是れは間違ひで更に角北の方だと云ふ事だけは確らしい、東久邇宮殿下は金澤で御赴任になる事が同地方の奉迎準備等で確になつた、朝香宮殿下の御平常は純軍人風の質素を旨とせられ雨の日でさへ品川驛前の御殿から參謀本部への御出勤は御乘馬と決まつて居る、東久邇宮殿下も全く御同樣であるが其の濶達の

◇御氣象は　昨年の白馬嶽、一昨年の鎗ヶ嶽御登山によつても知られる、今年も幸ひ金澤へ御赴任であるから越中立山御登山の壯擧を行はせられるらしい、猶金澤に於ては前田侯別邸を御住居に定められて先づ殿下御獨身赴任

◎文展出品の製作に懸つた人々

彫刻家と洋畫家が最も早い

秋の美術を飾る爲め諸家彫刻家は既に製作に着手した、今年は文展院展二科展の外に京都の新進五人の國畫創作協會も同時に東京で展覽會を開くと云ふか

◆展覽會を　開くと云ふから、定めし九、十月の美術季節は中々觀を呈するこさゝ思ふ、其の中文展の開會は十月であるだけ實際製作に着手した人は日本畫洋畫には未だ數へる程しかない、たゞ彫刻ばかりは材料の關係等から既に着手した人が多く北村四海氏は古山しづゑと云ふ身の丈五尺四寸もある、すばらしい女を使つて製作に忙しく去年

◆特選王席　の長谷川榮作氏も同じくこのしづゑをモデルにして居る、新海竹太郎氏は北村さいふ男モデルを寫して去年特選の關進二氏は既に白鷺美しい老人の首像を作つたが今一つ女を作る筈

◆今年は男　のモデルに決めたさある、院展に最も予想しのよいのは北村正信氏で大野ひさをモデルとして既に完成を告げた、次に洋畫家では中澤弘光氏が高木みつを使つて百號の大カンバスに夫人を描き中村不折氏も今年は十四歲位の可愛い少女を描く豫定又和田三造氏は一間半に二間の大物に着手したと噂される

小倉一郞三氏は揃つて男と女のモデルを手雛ることゝ『時の流れ』を出品して問題を惹起した朝倉文夫氏は

◎軍隊が緊張してる

そりや何時だつて同じだよ

支那の軍隊ぢやあるまいし傍かに騷ぎ立てるものかと言ひ訖つて

呵々と笑つた龍山の某將軍

大邱步兵第八十聯隊及び龍山步兵第七十九聯隊に對し編成上の都合に依り聯隊長以下大隊長の異動行はれた報を齎して龍山駐劄某將軍を訪へば『淸國に出動する

◆○○旅團　に編成するための異動だらうつて、馬鹿な事があるものか、まあ八月の大異動を出發さへして見りや大抵見當がつくだらうさ、這度八十聯隊附となつた長野中佐は、露國の觀戰武官となつた人で、一時獨逸軍に囚まれて切腹したと傳へられた事があ

る、ナニ

◆露國通だ　から浦鹽へ出兵するだらうつて、馬鹿な、世間では軍隊が緊張して居るやうに言つてるが軍隊は不斷に準備を整へてるものだよ支那の兵隊ぢやあるまいし無暗に緊張したり弛んだりして居つちや戰爭は出來まい、近頃米價騷ぎは市中の取締でもして居ようものなら故意と悠々たる態度を取るとか善意に解釋して忙中閑ありなど言はれるので

◆迂濶覓い　だ』

◆白から赤になつたのは

◇第一汚れないため、眼につき易い爲

這度改正された朝鮮警察官の服制は洋袴の白線の部分が赤色に變つたのと警部以上の上服の肋骨筋が省かれたのものと甚しく異つて來たのは

こそである、而して肋骨が附き袖章は階級の區別さが廢されて單に横筋が這つたものである、巡査補から警視迄の階級は袖章を一見すれば最もよく判る、巡査補は横筋一本限りで釦がない、巡査は釦が一つ巡査部長は二つ警部になれば洋袴に赤筋が一本這入り袖は袴に釦が二つと金線が一本限り警視は釦が三つ金線が二本肩章も一線に及ぶ袴筋と釦が一つ宛殖す、帶劍も以前より少し變更され、示準は同樣共裏が主である、此の改正された理由に就て某當局者は語る、從來の白色が赤色に變へたのは汚れ目が早く知れないのと赤色にして置けば早く目に附き易い遠方から見ても警官さいふことが一目瞭然するのが主、執行上にも必要なことが多いさ（當局は改制の巡査服と諸話な）

◎浦鹽派遣救護班

全員百六名

浦鹽派遣日本赤十字社救護班組織成り團長は志賀一等軍醫正委員六名看護人六十七名其他一行全員百六名にて二十六日東京發敦賀より浦鹽に向ふ筈なり（東京特電）

◎我が水兵隊出動せず

上海は靜穩

浣報の上海支那巡警暴行騷擾に就きては引續き日、英、米義勇隊にて警備中なりしが二十一日は至極平穩なりし爲め我水兵隊の出動に及

ばざりき（上海電報）

來ない、腹でも軍服を脫がないで居りや世間の想像こ好奇心を滿足させるかも知れんがそれぢや我々が遣切れないぢやないか君等を始め我輩が怯懦を言ふこい、加減に老けてるかのやうに思ふだらうが實際我々には何も解つてやしない、ナニ眞面目で老けてるのだらうつて、アハッ……眞面目に老けるつて事があるものかね』

◎東拓を種に詐欺

全南光州郡光州面瑞南里生れの李致珂（二）は四月以降五月迄に東拓榮山浦出張所の某內地人に運動し東拓農場の管理人に就職し得るやうに取計らふべしと稱し其の運動費名義にて羅州郡羅州面松月里李炳弘外三名より合計金六百五圓を騙取せしが尙其の手段として全南道廳勤務某氏名義の印章を僞造し某氏が就職するやう契約しやりたるが如く裝へる約定書をも僞造しゐたることを發覺し同人は光州署に逮捕さる

◎圖々しい馬の脚

京城本町二丁目壽館にて目下興行中の俳優神戶市下山手通八丁目生れの愛知榮太郞（二）の發意で仲間の青森縣北津輕郡板柳村生れの太田政吉（三）山口縣阿武郡須佐村生れの大庭虎一（三）と壽館の下足番黃金町四丁目安德永（三）迄加へ四人連にて十七日夜新町遊廓山鶴樓に登樓し大ビラ切つて遊興の後何れも無一文なること判明し樓主より告訴され四名は本町警察署にて取調べの上檢事局送りとなる

◎前貸で漁夫を手懷けて

內地の資本家に買占めらる

昨今生魚の高い理由……神戶の資本家に朝鮮に水揚されるのは僅かに全漁獲高の一割

魚が高い——これは近來耳にタコが出来る程聞かされる言葉であるが昨今は又値段に構はず買はうと思つても魚一尾容易に手に入らぬことがあるので、家庭を預る奥さん女中さんは何れも夕食のお膳立に頭を痛めてゐる、金を出しても魚が食へない——盛暑のこうだが出だから問題である、これに就て當業者は語つて曰く

◆毎年夏は　魚の剩著が常であるが今年は夏この外昨年あたりにくらべると一體に剩著が少いやうである、從來京城に集まる魚は三市場を合せて年額四十萬圓から四十五萬圓はあつた、今年は魚價が高いから金額に於ては或はこれを超過し五十萬圓には達するかも知れぬが數量は到底比較になるまいと思ふ、剩著の少くなつた原因は

◆近來沖買　が盛んになつた結果である、目下朝鮮沿海では日本產、山神組、林兼組、角輪組、江崎組など有力なる資本家が沖買に從事してゐるがこれ等の資本家は豫め漁師に莫大な前貸をなし一方發動機船を漁場に出しておいて漁獲物があると直ぐ發動機船に積み取つてドシドシ內地へ輸送して仕舞ふこれが中々大したもので全朝鮮に水揚げる漁獲高の九分には當つてゐる、買ひ換へれば新鮮沿海で獲れる魚は殆んど內地に行つて仕舞ひ

◆朝鮮の　程度から云つて未だ元山、釜山、鎮海、木浦、群山などから來る、次は元山で種類は鯖、鰯、鯛、鰊などが最も多く、鯛、鰺、鱈などがのが最も多く

京城の魚は時季によつて供給先に相違があるが目下の供給先は最も手近い仁川などのの上から云つてもこれは到底仁川の敵ではない、一體仁川ものは夜中の三時頃生簀から出して鉤を打込み朝の七時半には南大門に着くのであるから新鮮であり味が好い、それに珍らしい魚が多く料理屋あたりで使ふものは大抵仁川から來るものと定つてゐる、此他釜山からはアヂ、鯖からは小鰺も來るけれどこれは極めて

◆少數で　ある、南鮮からの廻著は矢張春と秋で共頃になると仁川や元山は漁季が終るからこの方面は反對に鮮くなるのが例である

▲味は佳いが仁川の魚

夏になると京城へ剩著が減つて來る譯である

◆單り京城　に限られた朝鮮に水揚するのは僅に幾部の一分かない從つて値段が高い——値段が高いと云ふことになる、魚が乏い……これは部分的の問題でなく、實に全朝鮮の問題なのでこれを防ぐには何うしても適當な法例でも設けて沖買を制限して貰はねばならぬ、それでなくとも夏になると何しろ腐敗の早いものではあり輸送上特別の方法を講ぜねばならぬので一層剩著が減つて來る譯である

◎獨人の陰謀暴露

浦鹽全市を焦土に化せんとす

最近浦鹽歸客談＝浦鹽に在る獨逸參謀大佐ウイルヘルムは獨逸政府の命を銜み四百萬留を散じて露國人明百を味方とし火藥庫に放火し浦鹽全市を焦土に化せんこ圖りし事發覺し五百餘の同志と共に監獄に收監されたり（東京特電）

◎浦鹽電信局長狙擊さる

浦鹽電信局長は過激派の一暴漢に狙擊され重傷を負へり（浦鹽電報）

◎詐欺賭博で一萬圓捲上げた犯人

昨年十二月以來京城に滯在中なりし慶北安東郡邑內の豪商李初錫を誘惑して詐欺賭博を開帳し同人より現金一萬二千圓を卷き上げたる一味の中一部は先頃本町署の手に檢擧されしこは旣報せしが逃亡中なりし共犯者京城樂園洞洪錫裕（三）臥洞任昌俊（四）の兩名も頃日本町署に逮捕され取調の上檢事局へ送られたり

◎無理心中

京都二の宮七條の七條新地妓樓梅之助（三）は馴染の客理髮店主人高橋萬治郞（三五）を清水山中にて殺し自分も清水の舞臺より飛び絕命せり（京都電報）

◎大暑

二十四日は二十四氣節中酷熱の季に入るこいふ『大暑』は二十三日の京城時刻にして午前一時五十二分に當る、大暑とは小暑（七月八日）の後十六日目にして之より一年中暑熱の最も酷しき季節に入り大暑の後十五日（八月八日）にして立秋に入り初めて涼風の立つ季節となるものなり

◎相撲安東乘込

國手一行百四十余名の東京相撲は廿三日午後三時半來安廿四、五の二日安東興行の上奉天へ向ふ筈なるが當地一般京城好き爲市中の人氣旺んなり（安東特電）

◎平壤新築寫眞展覽會

來る廿五日平壤武德殿に於て作品展覽會を開催し同日午後四時より美術に關する長の講演ある由

◎涼み淨瑠璃

廿二日夜から龍山で開演の納涼淨瑠璃は、簡節に催されてゐる各派合流の淨瑠璃は日頃好興味の多い催しなので好人々を呼んである、初日と二日目は城地だけであるが三日目から龍山連が加はるので一層賑ふであらう、慈善と云つても出演者は付を繋つて一生懸命に語るので聽衆は取つても心地がよいしかし初日は可成り頭揃ひでいつた丈けに聽衆は熱心に聽いて居た初日も二日目も前の演しもの若菜者にはつたので解連は依然として大物を取るとかけ二十六日迄に出來ける、力んで居るが淺羅も會員が旅行先きから歸り次第出演するらしい、三日目（二十四日）の語り手は次の如し

御祝儀入登小鑑（谷の戶）茶日屋（京菜系奈良新）八百屋（京係系屋新）壽觀（長伸子系）（京菜系寶新）道女盛（鈴賢系嬪司）酒屋（寶業系嬪司）嬢作腹切（二若揃若）

女子の本分

▲料理の出來ぬは女の損

▲禮法を知らぬは女の恥

女子の本分は婦道を守り家事に専らなるにあり。茶の湯、生花等の心得も必要ならんが、更に肝要なるは、料理を研究して、日々の食事を安價に美味に滋養あらしむると共に、禮儀作法を修得して、婦道に缺くる處無き樣に努むるにあり。

◆日本料理科

▲儀式料理▲日々の料理▲會席料理▲精進料理▲卽席料理▲晩餐料理等日本料理の献立▲歐米各國の洋食▲一品料理等、西洋料理一切を講義す。

▲板垣伯爵夫人　は既に東京割烹講習會を設立し、毎月「家庭料理講義錄」を發行し、坐ながらにして此雨道に達し得る便宜を計りつゝあれば今共內容の大略を紹介せん。

◆西洋料理科　▲正式料理▲略餐の献立▲歐米各國の洋食▲日本人向の洋食▲一品料理等、西洋料理一切を講義す。

◆支那料理　は世界の料理中最も進歩せるものと稱せらる、本項には此料理を詳細に講義す。

◆和洋菓子科　實用向の和洋菓子一切を懇切に說明す。

◆禮儀作法科　日本禮式及西洋禮式一切を講義し、尙婚禮式法、日本食禮法、西洋食事法をも說く。

▣實益と趣味　其他年中行事▲漬物▲雜物▲老人小兒病人の食物▲通俗化學▲名士の講話等に到る迄每號掲載しあれば、眞に實益こ趣味こを具備せる婦人必讀の講義錄なりこ云ふべし。

▣入會の手續　同會は目下會員の大募集中なれば、今が入會の好機なり。入會手續は簡單で、ハガキに「講義錄送れ」と書いて申込めば、直に會員として、毎月講義錄を配付す。

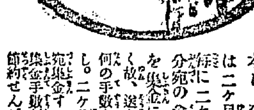
▣會費と割引　會費は一ケ月金四十錢。前金申込は三ケ月金壹圓十五錢。六ケ月金貳圓貳十錢。一ケ年金四圓貳十錢に割引す。

▣送金の便法　送金を面倒こ思ふ方に對しては集金郵便の便法あり。此便法は、入會を申込めば直に一冊送本し、同時に二ケ月分の會費（手數料共金八十五錢）を其地の郵便局の手を經て集金し、次號は翌月送本し、爾後は二ケ月目毎に二ケ月分宛の會費を集金に行く故、送金上何の手數も無し。二ケ月分宛集金するは集金手數料を節約せんが爲めなり。

▣大特典有り　此際の入會者には、入會金を免除し『料理必携』を進呈する外、會費六ケ月分前納者には『家庭寶典』を呈し、會費一ケ年分前納者には『パン製造法』及『記念メタル』を進呈す。

▣見本無代進呈　見本入用の方へは無代進呈す。

東京本鄕御茶の水　株式會社東京割烹講習會　振替口座東京一九四一〇番　電話小石川二六四二番



最新パン製造法　定價六十錢　送料八錢

本書は多年海外に在りて專らパン製造を研究せる斯界の大家田澄平氏が特に本會の爲に執筆せられたるものにて、田尻博士及諸大家の推稱を受けたる名著也。文章平易說明懇切、營業用に適し、一般家庭用こして好評嘖々。

實用パン製造法　定價廿五錢　送料貳錢

●此際の注文者に限り試驗用としてパン種十五斤分進呈

過去三十有餘年間パン製造に從事せられたる吉田悲氏の名著にして且つ直ちに營業者は固より有ゆる家庭の人々にも種々のパンが解り易く此に實地に應用の出來るやう親切叮嚀に詳述しあれば一般衛生的なるを東んずる人々殊に胃腸病患者等には有益缺く可らざる良書なり此際の注文者に限り試驗用としてパン種十五斤分進呈

乾燥パン種　七個入一袋（一個で約十五斤のパンが出來ます）定價參拾錢　送料貳錢

乾燥パン種　六個入一袋（一個で約十五斤のパンが出來ます）定價廿五錢　送料貳錢

發行所　會長板垣伯爵夫人　顧問大隈侯爵　東京本鄕御茶の水　株式會社東京割烹講習會　振替口座東京一九四一〇番　電話小石川二六四二番

最新刊

◎名所旅行案內　定價二十錢

近代倫理學大成　三浦藤作　三、五〇

東洋思想の古俗學　伊藤三郎　一、五〇

關稅及稅關　植田豐太郎　二、〇〇

島崎藤村著　海へ　定價一圓三十錢

井伊大老茶道談　中村勝麻呂　二、五〇

トルストイ全傳　水島耕一郞　一、二〇

要する心の爲めに　大須賀乙字　俳句の道　前田普羅　一、八〇

進むべき俳句の道　高濱虚子　一、八〇

小形天外著　二人傘　前編定價一圓五十錢

エマアソン社交論　高橋五郎　一、〇〇

◎鮮語階梯　定價十六錢

時さ　潮　栗原古城譯　一、五五

日蓮聖人正傳　本多日生　一、六〇

京城本町　大阪屋號　電話六四番・八八番　振替京城二五七三番

意外新方針事業

無料教授　…小學卒業の無資力者及同程度の青年男女に…三ケ月間で一ケ月二四回から二十圓六入を得らる

外國行渡航一切を貸與　規定指導あり

職業紹介就職資格證明書及び便宜を與ふ　詳細はハガキで申込め　東京本鄕第一高等學校隣

日本殖民貿易通信學校

有八朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

一丸鐵壹千貳百貳拾貳貫　詳細ハ七月貳拾四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

購買　龍山陸軍倉庫

玄米精米　詳細ハ七月二十三日以降朝鮮官報ニアリ

福井商會本店

中古靴

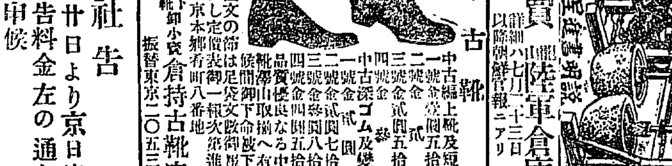
中古編上靴及短靴　一號金壹圓五拾錢　二號金貳圓五拾錢　三號金貳圓五拾錢　四號金貳圓

中古深ゴム及短靴　一號金貳圓七拾錢　二號金參圓八拾錢　三號金四圓五拾錢　四號金五圓

品質優良なる中古靴澤山取揃へ有之候間御下命被下度候

御注文の節は足袋文數御明記被下度

東京本鄕春木町八番地　陸海軍御用　卸小賣　倉持古靴店　振替東京二〇五三九

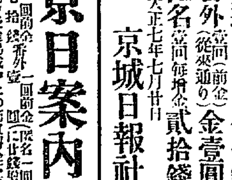


パイン（學生號）萬年筆

金貳圓八拾錢　送料內地三十錢　外

五年以上の生命を前提とするパイン萬年筆は如何なる試驗に以てするも真の萬年筆たる事を立證する事が出來る

京城太平通電話構內十八番　發賣元京城日報代理部　振替京城三〇〇番



東京　万平灸

京城黃金町三ノ一四

▲にせ物あり御注意▼

りん病　請合藥

ばい毒　請合藥

京城南大門外停車場通　ドラック商會　鮮本部　京城黃金町參丁目　ドラック商會支店

社告

七月廿日より京日案內廣告料金左の通り改め申候

普通（一回前金）七拾錢

番外（從來通り）金壹圓

匿名（一回毎增金）貳拾錢

大正七年七月廿日　京城日報社

京日案內

普通七拾錢　番外壹圓　匿名一回前金（一回前金（匿名一回毎に廿錢增し））

▲市內中後始の際收中止の節は料金不返附▲六回以上の御申込は特に割引のこと▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

普通

●融通　月收の御方へ極秘迅速御便宜計り御報御一伺仕候　京城大和町三ノ三武（桜井町）起木屋

賣店舖御相談に付雇賣有利なる特約製造販賣店居抜の儘至急譲る（姓名在社）

番外

◎採用　米穀商店員　一名　簿記係　一名

◎新債券賣出し　卽賣並に月賦販賣　齊藤商店　京城南大門通五丁目　電話二八一〇　京城光化門通（電話一四四七番）大日本債券會社

牛乳の用意が出來ました　蓬萊町　東亞牧場　▲電話五二一番

妻の心　四十六

七の八　小林蹴月作　武内桂舟畫

『旦那樣、寧そ貴郎のお手で殺して戴く方が……』と、麗子は、辟易を振り拂つて、洋刀を手に持ち構へながら、蚊帳を跳ねのけて、悠々と床の上へ摺り出したのである。本人は、無論幻覺中の人であるから、何も知らずに居るのであるが、他からは正しく狂氣の沙汰としか見えない。

二個の眼玉は、麗子の恐しい見幕に怖れたのでもあらうか。此の時は既う彼の凄まじい光りを隱して了つて、其處には捕捉すべき何物もなかつた。麗子は、啞然として坐り直つた。恰も頭上の柱時計が、四時を報じたのであるが、その響が稍低に高く澄んで、麗子の耳には、夢の國からの音樂の如く聞えた。

麗子は、ハッと思つて、覺らず自分の背後を振返つた。雨ながら明けやすき夏の夜は既や白々と曉の色をほのめかして、雨戸の隙間々々には、青いレンズを透したやうな薄すらとした光が射し込んで居る。

『まあ、夜が明けて了つたのね。』と斯う呟いた時には、もう麗子は幻覺の迷ひから醒めかゝつて、殆ど自分に復つて居たのである。然し嚥が、咽喉が焦け付くやうな渇きを覺える。

『俊や、お水を一杯……俊や俊や。』と、三聲ばかり續けざまに叫んだ。

次の間のお俊は、その聲に驚かされて、初めて熟睡の夢から覺めたらしい。

『奧樣、什うか遊ばしましたか。』と寢惚眼を擦りながら出て來る。

『什うも爲や爲ませんが、お水を一杯……。』

『はいはい、お水の御用で御座いますか。』と、お俊は、水瓶の水を洋盃に移しながら、倚々と麗子の手元を見入つて、

『奧樣、貴女のお手にお持ち遊ばしてお在の物は、そりや洋刀では御座いませんか。』

『おツ、然うでしたね。こりや果物の洋刀だわね。』

麗子は、お俊から注意せられたので、初めて自分の手に洋刀の柄を握り詰めて居た事を自覺つた。懐だしくも、それを投げ出して、然あらぬ顏は裝つて居るものゝ、眞夜中の二時頃から、今水が欲しくなつた四時近くまでの自分を回想して見ると、夢のやうな現實の何とも云へぬ氣味わるさであつた。窃と腋の下に手をやつて見ると、冷汗か寢汗か知らぬが、ぐツしよりと浸つたやうに濡れて居る。

『俊や、大變寢汗が出たやうだから、寢衣を着換へさして下さい。』

麗子は、お水に咽喉を濕してから後、斯う云つて囑んだ。

『はい、お易い御用で御座いますが、彼方のネルの方に遊ばしますか。』と、お俊は、何時に變らぬまめまめしさではあるが、麗子の眼光と云ひ、言語擧動と云ふ中にも、果物の洋刀を後生大事に握り詰めて居た容子から推測つて——事に據つたらば、奧樣は、今日此の頃の心配苦勞が嵩じ嵩じた餘り、自殺でも思ひ立たれたのではあるまいか知ら——と、思つた。若し、そんな事であつたら、今夜からは、もう不寢番をせねばならぬかとも考へたりして見た。

『奧樣、御氣分には定してお變りは御座いませんですか。』と、お俊は氣遣はしさの餘り、それとなく訊ねた。

『いゝえ、別に……。』と、麗子は、何氣なく答へて、自身にも判斷を投げ出した洋刀を、少時熟と睨み詰むるのであつたが、不圖思ひ直したやうに胸を擦つて、

『ね、俊や、それでも念の爲めですから、旦那樣が昨晩お歸りになつたか什うだか、彼方へ行つて一寸見て來てお呉れ。』

『はい畏まりまして御座います。』と、お俊は尻輕に起つて、久三郎の所謂隱居的書齋へ急いで行つたが、間もなく悄々として引返へして來た。

『奧樣、お床は延べて御座いますけれども、電燈が一人で淋しさうに光つこります丈で御座います。』

この報告。

『然うかね。多分然うとは思つたけれども……。』と、麗子は、微も力もない。

夏の御飯　主婦の心掛

夏は何處の家庭でも御飯が腐るので御困りになります之は炊く時に平素より控目にして若し決て御飯が不足の時は素麺か何かで補つて行くやうにするのが一番です▲それでも是非御飯でなければならぬのなら御飯を炊く時に醋酸を五六滴お米の中に入れて炊くのです之れなら御飯は決して腐るものではありません▲若し醋酸が無い時は梅干を入れて炊くのも結構です凡そ酸類の中では黴菌は繁殖しないものですから斯うするのです▲又臺所のものでは能く醤油に黴が生えて困ります、醤油の黴は布で漉しても容易に取れません、此には小さい布に唐辛子又は辛子を包んで醤油の中に浸けて置きます、斯すれば決して醤油に黴が生える事はありません▲夏はお辨當が腐つて困ります、之はお辨當を入れる時になまじ冷した御飯を入れるからであります、之にも梅干を少しお辨當の隅に入れて置くと腐敗を防ぎます▲若し熱い御飯をお辨當に詰るのなら先づポカポカ湯氣の立つのを御辨當に入れて直蓋をします、而して一刻經つてから蓋を取ると湯氣は蓋の上に附いてますから其濕氣を拭き取つて改めて副食物を入れると決して腐るやうな事は無い

日報俳壇

國題　猶伏せて

樹々剰に雨して芥子の坊主哉　山紫坊
士手崩れ杭打つ音の五月晴　同
眞珠孕む貝育つ磯や卯月凪　同
入船の帆なみ暑き埠頭哉　同
慟氣に披移る鳥や百日紅　同
草吹く連峯の雲に離き月　同
蚊齒の流れ侍りし花滿哉　笛木
四月野に豚の遁出し土塀哉　同
子等に父の麥藁帽見る梅雨の宿　同
五月雨を促がて立ち亭十つ　同
鵑去れば雀來る堂の若葉哉　同

鹿の子見て高きに山を下り兇　佐多女
鹿の子追ひ探す子等や草の上　同
白布裁つ鋏の錆も梅雨入哉　同
入梅や鷄籠伏せて干せる哉　同
白服に過つ百合の花粉哉　待宵
百合咲いて丘に滿ち來る潮哉　同
[illegible]水鷄の宿の紋散哉　石農
雨後の陽の強さに梅干に兇　同
聞き山と並ぶ小家や楣の花　公敏
尼僧仰ぎて尾を振る犬や麥の秋　同
郵便が濡れて居る五月晴　塵外
出帆の旋卷く音や雲の峯　同
掬ぶ手に夏萩の散る清水哉　草雨
シグナルのカタと落ちる星涼し　春草
默々と歩む鷄や青田風　紫光
空ら電車の疾驅する夏の日哉　窓月
　黄州月波亭
ポプラ皆幹より戰ぐ亭涼し　雄川

□湖南吟社兼題句集
課題　削氷、蓮

中腹避けて氷旗動くや路次の風　桃雨
雨となる裏涼風や蓮匂し　同
朝の月靜かに蓮の上にあり　同
削氷や庭樹にうつる灯の青き　[illegible]
聽間の座に吹き入ろや蓮の風　同
削氷や瑠璃皿溢すこぼれ水　[illegible]
胴に起きて蓮の音聞く庵哉　同
若僧の瞑想ふ蓮の小雨哉　[illegible]
削氷や泣くはあらぬ松小茶屋　同
辨天の周廻りや蓮の花　[illegible]
離茶屋や霧の中なる氷店　同
下手押して又乘上げし蓮哉　[illegible]
川添や氷屋臺の花灯　同
氷水ギヤマン皿の縮模樣哉　[illegible]
解し得ぬ經文や蓮に目を移す　同
箱庭見ゆる網代垣根や氷店　[illegible]
竹垣巡る蓬萊池の蓮哉　同
削氷や雨の日旗の淋し蓮る　[illegible]
疑造に擬られぬ朝や蓮の花　同
釣舟擲る路州や蓮の開く音　[illegible]
削氷の甘こぼれし欄の凹み　同
廢宮や蓮見る人の岸に立つ　[illegible]
蓮池や額盗まれて梅淋し　同
氷賣る堤に釣竿さしてあり　[illegible]
白蓮や四隣靜かに蝉なうつ　同
削氷や座敷涼の女客　[illegible]
朝の氣の蓮にせまる魚板哉　同
雨後の夜市や蓮外賣や氷店　[illegible]
炎熱蒸して草花萎けし店　同
黑谷の松に晩鐘の蓮取れり　同

次回兼題　百合の花、螢、各三句吐　七月三十一日締切　大田春日町一丁目森川桃雨氏宛送稿の事

新刊紹介（到着順）

▲鼠小僧次郎吉（小金井蘆洲演）　蘆洲得意の鼠小僧傳を五十八席七百八十頁の大冊に讀終りたるもの面白さ實のある講談なり殊に値段の安きことは無類といふべし（四十錢東京博文館）

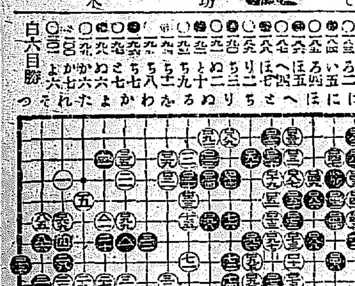
讀者の領分

▲花京城の學生のお方でハーモニカなお譲り下さる事は出來ませんか勿論一當のお値段で貰ひ受けます。本欄迄

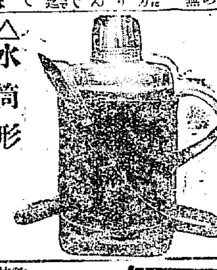
生徒だけ御知らせ下さいませ、そして御名を。背紙に本欄の在る事を要心より感謝致します（音樂好き少年）▲私は看守の試驗を受けようと思ふものですが受驗科目は何々でせうか、そして其科目について勉强すべき書名（著者の氏名及發行所）を敎示下さいません。（一讀者）▲どなたか次の歌曲の内一つなりとも歌を知つて居らるゝ方は御敎へを願ひます、ドナア河の漣、愛國民謠、古郷の家族、告別の歌、讃美歌の神に近づくの歌、樂しき家庭以上の内、何れの歌でも御敎へを願ひます。又ドナア河の漣は、譜を願ひます（ほうし）▲殖産銀行株の大暴落は先づ以て半島財界の騷擾の至りであるが此の大多數超過に對する割當問題は果して如何に決定せらるゝであらうか若し公募の滿額募集に應ずれば彼の數十萬數百萬と云ふ如き途方途徹もない大袈裟な投機的申込たること明瞭なるものと堅實眞面目なる少數申込みを必ずしも一丸とし絶對按分に依るの必要はないと考へらるゝ宜しく設立者は十分考慮を盡し在鮮少數申込者に有利なる解釋を採らんことを望む（正當申込者總代）▲紙上文藝に出さうと思ひますが何號とは一行何字と云ふ事ですか又何號とは活字の事ですかもし以上の事は不用ですがおしらせ下さい（不知臘生）▲龍山不知迎生へ今一度募規定を一讀して貰ひたい君には規定内の事項が一知半解の樣に思はれますから彼の何號何號と書いてあるのは投稿家（賞品）引替に就ての注意事項です結局其投稿家でどんな書を贈ふか若しくは何號の何號に掲込むかの意味なのです（係）

碁戰（完）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於岡棋會）
四段　喜多文子
三子　大久保雅彦



一八二 ろ三　一八三 は二　一八四 ろ一　一八五 い五　一八六 ろ四　一八七 ほ五　一八八 へ四　一八九 ほ七　一九〇 り二　一九一 ち三　一九二 ぬ二　一九三 と十　一九四 ち九　一九五 ち十一　一九六 ち八　一九七 ち七　一九八 さ七　一九九 ぬ六　二〇〇 か六　二〇一 か七　二〇二 よ六
白六目勝



△水筒形
三合入金武圓三十錢
四合入金武圓六十錢
△送料　鮮內二十四錢　外四十五錢

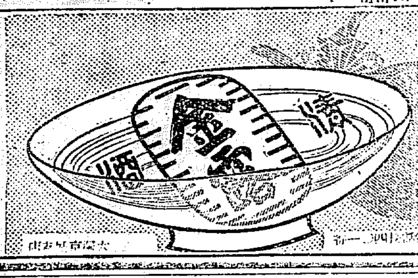
新式　魔法瓶
△圓筒形
三合入金一圓九十錢
四合入金二圓三十錢
五合入金三圓

京城太平通　京城日報代理部　電話六〇〇九番　振替京城三〇〇番

◎双眼鏡◎
◎十五形　六枚玉　十二圓
◎十三形　六枚玉　十一圓
送料鮮內十二錢　外三十錢
右僅少に付至急御下命願上候
京城太平通電話構內一八番
京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

ちら毛染
品質本位
染法輕便にして三十分に自然の黑髮の色に染る
本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり
定價　別製三十八錢　特製二十五錢
君お代
ちらが染　君が代　本舗　東京淺草　山吉商店
關西代理店　大阪市東區瓦町　伊藤朝日堂
電話東七四四　一六六七　振替大阪三九〇

瓶類
京城古市町電話二七四六番
畑兄弟硝子工場
工場特製人蔘エキス瓶……に限る
其他一般の御注文に可應候



質
京城明治町二元階町
大塚質店
電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全倉庫あり
多額の融通も出來得る限り便宜を圖る

涼しいお化粧
その一
夏は殊更
日焼けを防いで
上品で美くしい
レート白粉

◇お化粧一つで◇
◇美くしくも醜く◇
もなるものでムいます。殊に夏向きは、日焼けがしたり、脂肪が浮いたり、汗や塵埃でお顏が汚されますから、一層お化粧の良し惡しが目立つて見えます。實際、お顏に落附いてないお化粧ほど醜いものはなく、色艶もなく白いばかりに塗られて居るお化粧ほど、暑苦しいものはムいません。又

◇お顏に落附て◇
◇スラリとした◇
お化粧ほど、清く涼しく美くしいものはムいません。この、お化粧一つでの美醜は、第一に、お使用料の白粉によるので、只、白く附きさへすればよいといふ有觸の白粉では決して、美くしいお化粧は出來ません。何故かといふと、こんな白粉にはお肌の根底から整へて行く素質を持つて居りませんから

◇只上べ計りに◇
◇白く附て居て◇
直きに剝げたり、斑になつたり、艶がなくなつたり致すからでムいます。レート白粉は、原料から製法まで研究された上に最新美容素が配伍てムいますから、附けるとお肌の地合へ分子が吸收され、皮膚組織から整へて表面へ白く附くのでムいますから脂肪汗を留め、日焼けを防ぐ計りでなく自然の色艶は

◇頗るお上品で◇
◇落附きがよい◇
ので、誰れの見る目にも清く美くしい。だから、附けて氣持よく、涼しい感じが致します。この他にない優れた要點は、東京の化學工業博覽會で名譽にも金牌を受領つた事が、よく證明して居るばかりでなく、實驗上では常に三越のお化粧室で使はれて居る事でもお分りになると思ひます。

◇此季節が一番◇
◇お化粧試驗の◇
よく分る時でムいますから、レート白粉を御使用され、他の白粉と比較して、『成る程レートは良い』といふ御經驗を得られむ事を願ひます。尚御使用の節レート煉白粉なら透明レートを溶水にして下さい。レート水白粉なら其儘か、レートヂエリーを下地にして、レート粉白粉で粉刷をして置かれたら一層美くしうムいます。

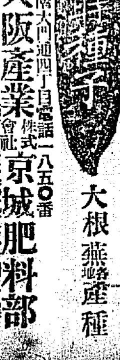
レート本舗　東京　平尾賛平

イケダ小兒內科醫院
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院一一三四番　自宅三〇〇〇番）
池田季雄

朝鮮總督府編纂「最新刊」
東部西伯利地圖
定價金參拾五錢　郵税二錢
右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部
電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

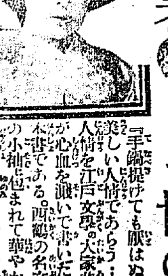
內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院
電話一二七二　一三九〇番

肥料
過燐酸、硫酸アンモニヤ、智利硝石
蛹メ粕、油粕、大豆粕
稻作用、配合肥料、果樹用、苗圃用、棉作用、煙草用、其他各種取扱
販賣　安價販賣の目的を以て左記各驛に配置致し居候御注文の節は最
特色　近驛より安着見積提供價段の廉價と發送の迅速を以て御用命に應じ申候
配置驛・京城・釜山・裡里・水原・鳥致院・平壤



大根　蕪　各種產種
大阪產業株式會社　京城肥料部
京城南大門通四丁目電話一八五〇番
振替は京城[illegible]一四一九番

電鈴　乾電池
ヒオキ商會
京城朝鮮銀行横電話[illegible]



西鶴著　うき世の情
『手鍋提げても厭はぬ』なんといふ美しい人情であらう…其麗はしい人情を江戸文學の大家井原西鶴先生が心血を灑いで書いた不朽の名文が本書である。西鶴の名文は鹿の子絞の小袖に包まれて華やかな元祿男女の情緒を窺見るやうな珍書。內容は……言はぬが花は紅……柳は綠……
忽拾六版　ポケット判二百八頁、天金美本。振替小爲替なら金五十五錢　郵券代用は六十錢　書留に二十一錢　小包は九十錢
東京小石川區[illegible]　豐文館　振替口座東京三三九九三番

田中丸病院
京城西小門町二二番地
入院隨意　普通病室隔離病室の設備あり
院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
電話八八五番

大日本優等清酒
ハクツル

品質純良
衞生無害
攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四三五番

痔疾專門
入院隨意
京城明治町二丁目本町より入る中程（電話一二〇二番）
京城久枝肛門病院